

# 宮崎県立図書館

## 所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

## 電話

### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

### 情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

## ファクシミリ

### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

資料管理担当 0985-29-2491

### 情報提供課

普及支援担当 0985-29-2961

郷土情報担当 0985-22-9070

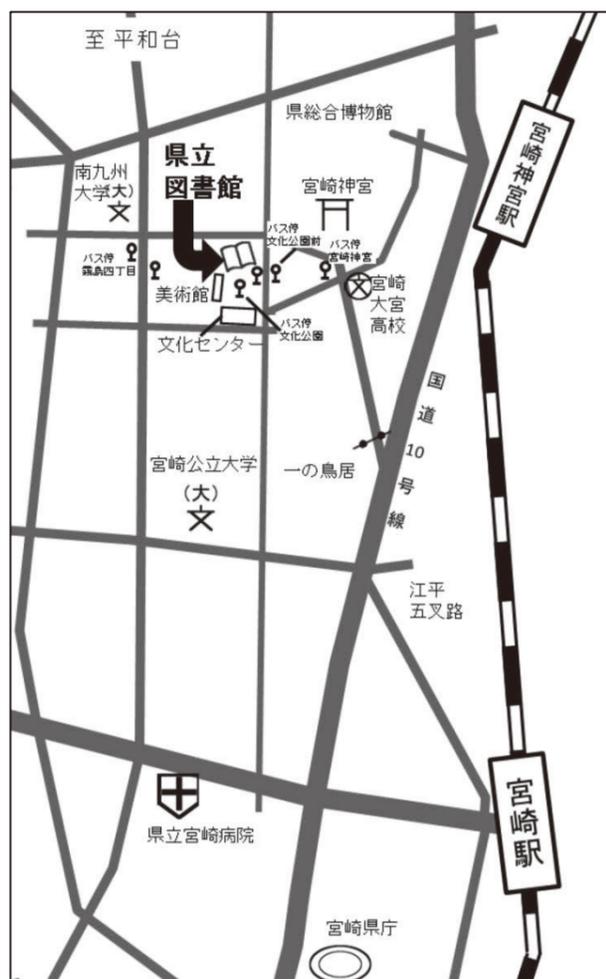
情報提供担当 0985-22-9070

## 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp (代表)

## ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和5年度

宮崎県立図書館要覧

令和5年度

# 宮崎県立図書館要覧



Live!  
Library  
Miyazaki Prefectural Library  
宮崎県立図書館

令和5年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 令和5年7月

発行人 宮崎県立図書館

## <目 次>

..... 【第1部】 .....	
1 運営方針等について	2
2 令和5年度の主な取組	4
3 組織	7
4 当初予算	8
5 令和5年度事業計画	9
..... 【第2部】 .....	
1 資料概要	12
(1) 配架別・分類別資料数	12
(2) 資料購入の推移	12
(3) 貴重資料	12
(4) 資料整備状況	14
(5) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	14
(6) デジタルアーカイブの状況	14
2 事業実績	15
(1) 新型コロナウイルス感染症対応の概要	15
(2) 利用事業（団体貸出等を含む）	16
① 年度別貸出利用状況の推移	16
② 貸出利用地区別内訳	17
(3) 館内利用事業	18
① 入館者及び貸出利用等	18
ア 年度別貸出利用状況の推移	18
イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移	18
ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数	19
エ 分類別図書貸出冊数	19
オ 相互貸借件数	19
カ AVコーナー資料の利用状況の推移	19
キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）	20
② その他サービス等	20
ア 調査相談（レファレンス）	20
イ YA（ヤングアダルト）サービス	20
ウ 児童サービス	21
エ ビジネス支援サービス	21
オ 健康情報サービス	22
カ 障がい者等サービス	22
キ パソコン・データベースコーナーの利用状況	22
ク 複写サービス利用状況の推移	23
ケ 各種相談事業	23
(4) 館外利用事業	24
① やまびこ文庫	24
② セット文庫	25
③ 子育て支援図書セット貸出	26
④ 団体文庫	26
(5) 図書館ネットワーク事業	26
(6) 訪問支援	28
(7) アドバイザー派遣	29
(8) 視聴覚事業	29

① 視聴覚資料等貸出利用状況	29
② 視聴覚行事	30
(9) 閲覧室内展示	31
① 特設展示コーナー	31
② 産廃基金コーナー	31
③ 企画展示コーナー	31
④ 博物館との連携展示	31
(10) 関係機関と連動した情報発信事業	32
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	32
② 県内公共図書館（室）における巡回展	33
(11) 文化活動事業	35
① 第 64 回「こどもの読書週間」関連行事	35
② 第 76 回「秋の読書週間」関連行事	35
③ 特別展等	36
④ 郷土史料等学習活動	37
(12) 郷土資料調査研究事業	38
① 『宮崎県史料』	38
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	38
③ デジタルアーカイブ事業	38
(13) 広報活動等	39
① 「緑陰通信」発行事業	39
② ホームページ等活用事業	39
③ 職場体験学習・施設見学	40
(14) 「かば先生文庫」	40
(15) 講演会等の主催・共催	41
① 「みやざき自然塾コロキウム」	41
② 「本ってこんなにおもしろい！ ～読書のアニメーションワークショップ～」	41
③ 「推し絵本座談会」	41
④ 「「宮崎の自然」合同発表会」	42
(16) 大学及び大学図書館との連携	42
(17) ラーニング・コモンズ事業「塩月桃甫と中村地平」	42
(18) 県立図書館創立 120 周年記念事業	42
(19) 研修	43
3 各種協議会等	45
(1) 県立図書館協議会	45
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	46
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	47
(4) 令和 5 年度宮崎県立図書館資料推薦委員	49

..... 【参考資料】 .....

1 沿革	51
(1) 県立図書館の歩み	51
(2) 歴代館長名	54
2 県立図書館条例・規則等	55
3 施設概況	65
4 施設の維持管理	66
5 利用案内	67
6 市町村立図書館一覧	68

# 【 第 1 部 】

# 令和5年度の運営方針等について

## 1 運営方針

### ○ 県立図書館のミッション

図書館として、県民の一生の学びを支え、宮崎の歴史・文化を伝える

### ○ 県立図書館ビジョン

宮崎県立図書館では、県内外の有識者からなる「宮崎県立図書館ビジョン懇談会」の提言（平成28年11月）を踏まえ、長期的な視点で県立図書館の今後目指すべき役割や今後の施策の展開の方向性を明確にするため、平成29年12月に「宮崎県立図書館ビジョン（以降「ビジョン」という。）を策定し、その期間を10年間（平成30年度～令和9年度）と定め、期間中は必要に応じて見直すこととしました。

策定から5年が経過した現在、感染症の世界的流行やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など社会情勢が大きく変化し、そのスピードも増す中で、具体的事項を含む現ビジョンの内容は図書館を取り巻く環境に合わなくなっている部分も出てきました。

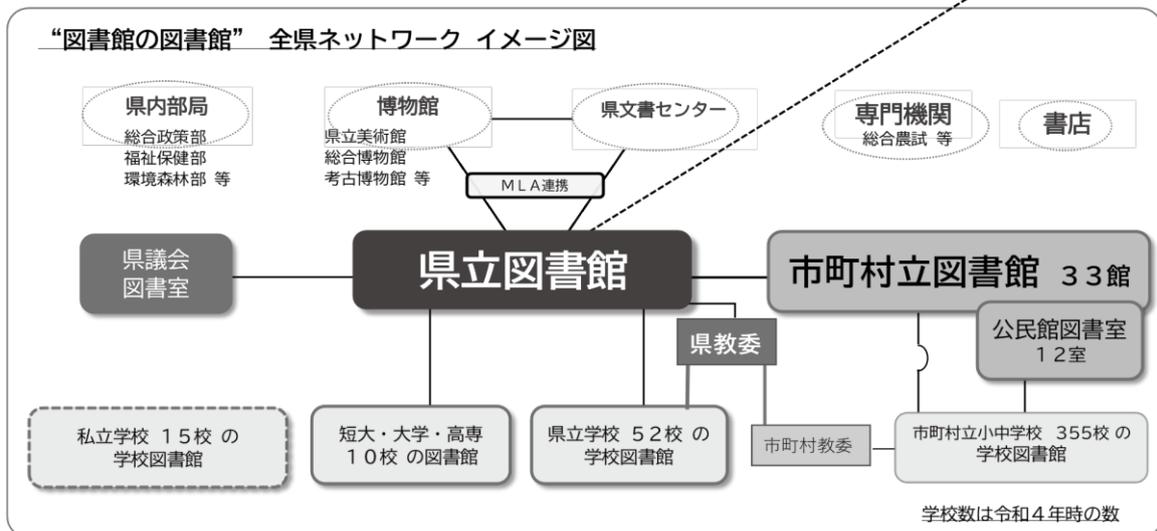
そこで、図書館運営の根底となる現ビジョンが示す方向性は変えずに、具体的事項は時代の変化に対応できるような表現にするとともに、内容をよりシンプルにまとめ、県立図書館のあり方や方向性について県民の皆様と共有しやすくするように改めました。

※ 「デジタルトランスフォーメーション」…将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出あるいは柔軟に改変すること。

## ビジョンの全体像

基本目標 人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

- 行動指針
- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
  - 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
  - 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える



※ 「MLA連携」…Museum（博物館）、Library（図書館）、Archives（文書館）といった施設間の枠組みを超え、相互に協力して文化資産の収集・保存や情報提供等を行うためのつながり。

## ○ アクションプラン

当該ビジョンにおいては、「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」を基本目標に、その達成のために3つの行動指針を定め、さらにその実現のための具体的取組をアクションプラン（令和5年度からの3年間）に示しました。

県立図書館では、今後も当該ビジョン及びアクションプランのもと、下記の行動指針に沿って各種施策を展開することとしています。

### 行 動 指 針

- 指針1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
- 指針2 みやぎの資料(地域資料)の拠点
- 指針3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

### 《令和5年度の重点取組事項》

- 事項1 障がい者サービスの充実
- 事項2 電子図書館サービスの調査・研究
- 事項3 専門的資料及び地域資料の収集・整理
- 事項4 市町村図書館(室)・学校図書館に対する支援
- 事項5 県内公共図書館(室)職員の専門的知識・スキルの向上

※ 電子図書館…図書館が所蔵する資料等をデジタル化したものや、流通する書籍等の電子化されたものを、ネットワークを介して利用提供するシステムのこと。

## 2 令和5年度の主な取組

### (1) 図書館の図書館(全県ネットワーク)

**重点取組** ① 電子図書館サービスの調査・研究 **重点取組事項2**  
地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ等情報サービスについて、組織的な情報収集・研究・検討を行う。

**重点取組** ② 訪問等による市町村支援 **重点取組事項4**  
必要に応じて編成した「市町村支援チーム」により、定期的又は要請を受けて市町村立図書館(室)を訪問し、図書館(室)運営や読書振興について必要な助言や情報提供を行う。

**重点取組** ③ 研修による市町村支援 **重点取組事項5**  
県立図書館や公共図書館連絡協議会の事業による専門的な研修や、市町村の要望に応じて職員を派遣する研修等によって、県内市町村立図書館(室)職員の支援を行う。

**重点取組** ④ 県立学校の支援 **重点取組事項4**  
高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の促進のための情報提供や図書配送システム利用校の拡充など、学校図書館を活用した新たな学習活動の展開を支援する。

**重点取組** ⑤ 「セット文庫」活用による町村支援 **重点取組事項4**  
町村立図書館(室)及び学校に対しては「セット文庫」等を活用し、読書活動や調べ学習を支援するための資料を貸し出し、読書環境の充実を支援する。

※ セット文庫…テーマ別にセット組にした資料。町村立図書館(室)や対象の学校に対し、必要に応じて貸し出す。

⑥ マイラインの利用促進  
図書館配送システム「マイライン」について情報発信することなどを通して、市町村立図書館(室)に一層の利用促進を図る。

※ マイライン…県立図書館の図書を最寄りの市町村立図書館(室)で借りることができるサービス

⑦ 物流の活用による利用促進  
宮崎市立図書館とのマイライン接続ほか相互貸借及び政策立案支援における県庁便等の物流の検討を行う。

※ 現在は宮崎市の公立図書館(室)においては宮崎市立佐土原図書館とはマイラインと相互貸借、宮崎市田野公民館図書室、宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室はマイラインを実施している。

⑧ 安全・安心な環境整備  
利用者が安全・安心して利用できるよう、施設の点検や修繕、防災訓練等を実施する。

- ⑨ 資料保存スペースの確保  
資料の保存場所確保のため、箱詰め保存資料・書架配分の見直しを行う。
- ⑩ 県立図書館ならではの情報発信  
SNS等を活用し、県立図書館の豊富な専門資料を生かした展示やレファレンス、市町村立図書館(室)支援・協力などの情報発信を行う。

## (2) みやぎの資料(地域資料)の拠点

重点  
取組

- ① 地域資料の収集・整理・保存・活用 重点取組事項3  
県内の各自治体や教育機関、市町村立図書館(室)等が作成した行政資料やパンフレット等を「地域資料」として収集・整理・保存するとともに、地域資料の収集計画をもとに効率的かつ効果的な収集・整理・保存・活用に努める。  
また、地域資料の発掘・調査や歴史的事象の紹介・検証に重要な役割を果たしている県内各地の史談会等の活動の支援として、オンラインを活用した支援方法を検討する。
- ② 保存状態の確認と対策  
劣化が懸念される地域資料の状態を確認し、適切な保存やデジタル化等について検討を行う。
- ③ 杉田文庫関係資料の整理と調査・分析  
杉田文庫関係資料(故・山口保明氏の遺族から寄贈される予定の俳句 関係資料群)を整理しながら、杉田文庫内の貴重資料との関連性を調査・分析する。
- ④ 本県文化の魅力に関わる地域情報の発信  
地域資料を活用した特別展や講座などを通じて、本県の歴史・文化、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。  
特に小林邦雄コレクションをもとにした若山牧水に関する展示や、県内の各種研究・学術団体等と連携した文化講座などを通じて本県の地域文化の魅力を紹介する。  
また、デジタル化した貴重書庫内の資料画像やその内容をホームページ内のデジタルアーカイブやSNS等を通じて館外へ発信・紹介していく。

※ 小林邦雄コレクション…若山牧水をこよなく愛し、掛軸や色紙、書籍などを収集していた故・小林邦雄氏の収集品で、遺族から県立図書館に寄贈を受けた。

## (3) 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

重点  
取組

- ① 障がい者サービス 重点取組事項1・5  
アクセシブルな書籍や端末機器等についての情報を収集・提供し、来館が困難な利用者に対しては、郵送サービスの実施など利用者のニーズに応じた円滑な図書館利用の支援に努める。  
また、県内図書館(室)職員向けの研修を実施し、読書バリアフリー法に係る読書活動を推進する職員等の資質向上を図る。

※ 読書バリアフリー法…全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられることを目的に令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」

- ② 県立図書館ならではの資料収集  
市町村立図書館(室)では収集することが難しい専門書・参考図書を中心に、全分野の資料を網羅的に収集するよう努める。
- ③ 県民参加型情報発信  
他の専門機関と連携し、資料・情報を活用した県民参加型情報発信のモデル的取組(例：ウィキペディアタウン)を行い、その県内普及に努める。
- ※ ウィキペディアタウン…地域の文化財などを調査し、インターネット百科事典「ウィキペディア」の記事を作成・編集するイベント
- ④ 専門研修への派遣による業務改善  
計画的に専門研修等に派遣又はオンライン研修受講を促進し、受講後は担当業務の見直し、改善等に生かす。
- ⑤ 書誌データの充実  
蔵書検索システムで利用される書誌データの充実を図り、利用者が求める資料に数多くマッチングできるように整備する。
- ※ 書誌データ…図書等のタイトルや編著者、出版社、出版年、大きさ、ページ数などを記述したもの。目次データや人物等の情報を加えることで検索しやすくすることができる。
- ⑥ レファレンスサービスの充実  
専門機関との連携や担当職員のスキル向上に努めるとともに、県立図書館の有する資源(専門知識、資料、データベース、施設等)を生かしたレファレンスサービスを適切に提供する。
- ⑦ 地域課題解決に関する市町村立図書館(室)の意識の醸成  
市町村立図書館(室)を訪問し、地域の実情を把握しながら課題解決型サービスに必要な情報を提供することで、図書館(室)として地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図る。
- ⑧ 図書館サポーターの設置  
図書館サポーターを設置し、県民の図書館への理解を深め、図書館活動の一層の活性化と図書館振興を図るとともに、県民に生涯学習の場を提供する。

### 3 組織

#### (1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員27	1	1	2	2	6	0	5	3	2	3	2

#### (2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p> <p>館長 平山 文春</p> <p>副館長 日高 聖子</p> <p>専門主幹 福満 千秋</p> <p>専門主幹 本田 潤一</p>	<p>総務・企画課 17人</p>	<p>総務担当 4人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入</li> <li>・ 庁舎管理(施設・設備営繕、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画</li> </ul>
		<p>企画担当 4人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会</li> <li>・ 図書館広報及び各種情報発信、図書館情報システム等の運営管理</li> <li>・ 職員研修、図書館実習・職場体験学習等</li> </ul>
		<p>資料管理担当 8人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本)</li> <li>・ 購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入</li> </ul>
	<p>情報提供課 36人</p>	<p>普及支援担当 6人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援</li> <li>・ 県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計</li> <li>・ やまびこ文庫、BM書庫管理・活用、マイライン運営・普及</li> </ul>
		<p>郷土情報担当 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資料、貴重資料の収集・保存・整理・活用</li> <li>・ 県地方史講座(文化講座・古文書講座)</li> </ul>
		<p>情報提供担当 24人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理</li> <li>・ レファレンスサービス、相互貸借</li> <li>・ 高齢者・障がい者サービス</li> </ul>

#### 4 当初予算

##### (歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,856 千円	
財産運用収入	1,856	
財産貸付収入	1,856	
公募型財産貸付料	1,856	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰 入 金	1,254 千円	
基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
諸 収 入	829 千円	
雑 入	829	
雑 入	829	
雑 入	829	電子複写及び電気・水道使用料

##### (歳出)

事業名	予算額(千円)
図書館費	127,214
管理運営費（庁舎の維持管理に要する経費）	88,136
図書館協議会（図書館協議会の運営に要する経費）	228
県立図書館老朽化対策事業（県立図書館受変電設備改修工事）	38,850
図書館サービス推進費	142,512
県民の読書を支える図書館づくり事業 （図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費等）	42,303
図書館サービス費 （資料の提供、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費等）	95,467
A V活動推進費（A V機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費）	55
図書館ネットワーク推進事業 （市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費）	776
インターネット通信事業（インターネット通信に要する経費）	172
みどりの図書館づくり推進事業 （自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費）	1,446
図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 （外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費）	839
置県140年宮崎県史等デジタル化事業 （宮崎県史等をデジタル化及び公開することにより文化活動の活性化を図る事業）	1,454
郷土資料調査研究事業推進費	8,357
史料刊行費（史料・研究紀要の刊行に要する経費）	4,234
郷土資料調査・研究員報酬等 （郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等）	4,123
合計	278,083

## 5 令和5年度事業計画

### 読む…………貸出サービス等

#### ●個人貸出

1人10冊まで 児童図書室は5冊まで	14日以内
-----------------------	-------

障がい者の方への「無料宅配サービス」、一般の方への「有料宅配サービス」も行っていきます

#### ●図書館ネットワーク

<b>宮崎県内図書館横断検索システム</b> インターネットで、読みたい本を県内のシステム参加図書館の蔵書から検索できます
<b>マイラインシステム</b> インターネットで県立図書館の蔵書を検索し、居住している市町村立図書館（室）を通じて借りることができます
<b>相互貸借システム</b> 国立国会図書館の総合目録システム等から借りることができます

#### ●団体貸出

<b>やまびこ文庫</b> 市町村の図書館（室）やへき地の学校、特別支援学校等を対象とした書庫の資料貸出・配本
<b>団体文庫</b> 読み聞かせボランティア団体等を対象にした貸出

### 見る・聴く…………映写会・コンサート・おはなし会等

#### ●視聴覚事業

<b>図書館シアター</b> 名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する上映会	7/8（土）・9/13（水） 1/17（水）・3/6（水）
<b>子ども映写会</b> 子ども達の夢を育て、情操教育を支援する映写会	5/7（日）
<b>緑陰コンサート</b> 生演奏やレコード音楽を楽しむコンサート	6/18（日） 11/5（日）
<b>メモリアル宮崎～郷土を知ろう～</b> 16ミリフィルムに記録されている昭和の宮崎県の出来事等を鑑賞する上映会	11/28（火）～12/3（日） 12/13（水）

#### ●読書活動関連事業

<b>おはなし会</b> 子どもたちを対象とした絵本等の読み聞かせ	火曜日（14：00～14：30） 水曜日（15：00～15：30） 土曜日（15：00～16：00） ただし、祝日は開催しません。
--------------------------------------	--

※各種イベントは年度途中で予定に変更が生じる場合があります。

### 学ぶ…………講座・特別展示等

#### ●秋の読書週間特別イベント2023

<b>読書会「中村地平作品を読む」</b> (宮崎大学 名誉教授 岡林 稔 氏)	10/28（土）
---	----------

#### ●宮崎県文化講座（いずれも13：30～15：30）

1	<b>「宮崎の鉄道」</b> （仮） (郷土史家 松浦 祥雄 氏)	9/23（土）
2	<b>「宮崎県の天然記念物」</b> （仮） (宮崎大学 名誉教授 岩本 俊孝 氏)	10/21（土）
3	<b>「太宰治と中村地平 ー北方文学 vs 南方文学」</b> （仮） (宮崎大学 名誉教授 岡林 稔 氏)	11/18（土）

#### ●古文書講座

本館所蔵の県内関係の古文書を教材にして古文書の読み方を学びます	6/3（土）・7/1（土） 8/5（土）・9/2（土）
---------------------------------	--------------------------------

#### ●特別展

1	特別展「宮崎の鉄道」（仮）	9/23（土）～10/29（日）
2	特別展「若山牧水」	11/11（土）～12/10（日）
3	特別展「宮崎県近代史」（仮）	1/13（土）～3/10（日）

### 相談する…………レファレンスサービス・相談会等

#### ●レファレンスサービス

質問や相談を受けて、図書館職員が参考となる本の紹介や情報提供を行うサービス 〈閲覧室4番カウンター及び電話・FAX・メール等で受付〉
---

#### ●各種無料相談会

<b>健康相談会</b> （まちの保健室） 宮崎県看護協会による心身の健康に関する無料相談会	毎週土曜日 （第5以外）
<b>法律相談会</b> 宮崎県司法書士会による法律に関する無料相談会	毎月第2金曜日 ※8月は実施なし
<b>不動産相談会</b> 宮崎県不動産相談会による不動産に関する相談会	4月・10月 実施予定

### 楽しむ…………その他イベント

#### ●図書館イベント

<b>こどもの読書週間関連事業</b> 絵本や児童書の展示のほか、おはなし会や記念イベントを行います	4/18（火）～5/7（日）
<b>秋の読書週間関連事業</b> 秋の読書週間に関連する企画展示などを行います	10/17（火）～11/5（日）

## ●ギャラリー展（令和5年度計画）

## 県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業

※主催◎ 共催○

1	4/5 (水) ~ 4/16 (日)	G7宮崎農業大臣会合絵画・ポスターコンクール展
2	4/18 (火) ~ 5/7 (日)	◎こどもの読書週間企画展「いのちをみつめて～平和をつたえるこどもの本～」
3	5/10 (水) ~ 5/21 (日)	インフラストック効果パネル展 『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク』&『霧島ジオパーク』の魅力
4	5/24 (水) ~ 6/4 (日)	みどりの特別企画展～6月は環境月間です！～ 令和5年度「土砂災害防止月間」パネル展～備えよう！助かる命守るため～
5	6/7 (水) ~ 6/18 (日)	県民との協働パネル展 思春期こころの健康
6	6/21 (水) ~ 7/2 (日)	男女共同参画パネル展 NOSA I「宮崎の農村」写真コンテスト 一なつかしの風景 今もなおー
7	7/5 (水) ~ 7/17 (月)	美しい宮崎づくりパネル展 宮崎の古墳文化パネル展～世界文化遺産登録をめざして～
8	7/20 (木) ~ 7/30 (日)	統計グラフコンクールの作品展～グラフで見ると新たな発見～ ご存じですか、高次脳機能障がい～頭のケガや脳卒中の後から起こる後遺症～
9	8/1 (火) ~ 8/13 (日)	農畜水産業の技術最前線 ～最新の研究をわかりやすくご紹介～
10	8/16 (水) ~ 8/27 (日)	みやざき食品ロス削減パネル展 森林・林業にふれてみませんか！～宮崎県林業技術センターはこんなところ～
11	8/30 (水) ~ 9/10 (日)	土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展 中山間地域をみんなで支える県民運動～中山間地域の魅力を知ろう・使おう・広げよう～
12	9/12 (火) ~ 9/18 (月)	○NHK大河ドラマ「どうする家康」全国巡回展
13	9/26 (火) ~ 10/15 (日)	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
14	10/17 (火) ~ 11/5 (日)	◎秋の読書週間企画展
15	11/8 (水) ~ 11/26 (日)	犯罪被害者支援に関する企画展～被害者支援について考えよう～ 女性に対する暴力をなくす運動パネル展
16	11/28 (火) ~ 12/3 (日)	◎メモリアル宮崎
17	12/6 (水) ~ 12/24 (日)	シニアパワー宮崎づくり企画展～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～ 里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン
18	1/11 (木) ~ 1/28 (日)	人権啓発パネル展～思いやりの心で 豊かな人間関係を～ 宮崎県営水力発電の歴史～昭和30年時代の綾川水系の水力発電所とダム建設写真展～
19	2/15 (木) ~ 2/25 (日)	令和5年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示 がん検診受診率向上パネル展
20	2/28 (水) ~ 3/10 (日)	サイバー犯罪被害防止パネル展 省エネルギー月間展 未来のため身近な省エネに取り組もう！
21	3/13 (水) ~ 3/24 (日)	みやざきの「ひと」～みやざきの「昔」から「今」へ ふるさとの水辺発表会

## 【 第 2 部 】

# 1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

## (1) 配架別・分類別資料数（令和5年3月31日現在）

単位（冊）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	8,276	950	41,174	953	384	465	52,202	6.2
1 哲学	4,904	271	20,079	1,044	112	3	26,413	3.2
2 歴史	13,867	1,597	56,772	2,895	930	329	76,390	9.1
3 社会科学	24,622	2,606	150,884	5,605	2,417	429	186,563	22.3
4 自然科学	13,816	3,920	44,585	6,209	1,134	21	69,685	8.3
5 技術	12,372	1,604	42,068	5,321	772	23	62,160	7.4
6 産業	11,162	895	38,625	2,183	554	8	53,427	6.4
7 芸術	10,578	2,808	44,844	5,245	7,698	69	71,242	8.5
8 言語	3,076	605	9,913	1,220	146	44	15,004	1.8
9 文学	26,620	18,833	138,985	39,306	369	63	224,176	26.8
計	129,293	34,089	587,929	69,981	14,516	1,454	837,262	100

## (2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	H30		R1		R2		R3		R4	
	購入数	金額								
図書	11,144	35,860	10,727	36,976	9,501	33,834	9,465	34,779	10,318	35,091
逐次刊行物	3,487	5,422	3,476	5,544	3,460	5,629	3,544	5,792	3,553	5,881
A V 資料	37	770	44	735	37	888	22	734	25	779
計	14,668	42,052	14,247	43,255	12,998	40,351	13,031	41,305	13,896	41,751

## (3) 貴重資料（令和5年3月31日現在）

No.	文書名	文書の概要
1	阿萬文書	「尚友堂日記（阿萬豊蔵日記）」、恒久村・吉村の境界争い関係図など129点の文書 ※ 阿萬豊蔵（1809-76）安井息軒に師事し、江戸の昌平黌に学ぶ。帰国して飫肥藩清武郷役人を務める。
2	島津文書	寛文9（1669）年から文久2（1862）年の間の「佐土原藩島津家日記」、「鶴城譜略」、「佐土原藩系図」など佐土原藩の藩政関係の文書141点
3	桑原文書	「佐土原藩譜」、「維新事蹟」、「御軍記」巻1～5などの43点の文書 ※ 桑原家：旧佐土原藩士
4	松尾文書	「歴代公用日記」、「桜島噴火記」、「忠将公御記」などの筆写本24点 ※ 松尾宇一（1886-1963）郷土史家

5	日高文書	「船中道中日記（児玉実行）」、地券、借用書など 92 点の文書 ※ 日高家：旧佐土原藩の郡方役人
6	内藤家文書	内藤家文書を石川恒太郎氏が翻刻したもの 4 点 ※ 石川恒太郎（1900-90）地方史研究家
7	小寺文書	飢肥藩楮紙仕立てに関する一件書類、「宮崎大島組大庄屋各村人別帳」など 47 点の文書 ※ 小寺鉄之助：郷土史研究家
8	新穂家文書	「新穂禎蔵書簡」、土地売渡証文など 7 点の文書。 ※新穂家：都城市高城町
9	辰己屋文書	藩からの酒造の申渡書・勘定書・証文や藩役人にあてた御請書など 33 点の文書 ※ 辰己屋：日向国那珂郡江田村（宮崎市）の酒造家
10	児玉日誌	明治 20（1887）年から昭和 11（1936）年までの日記史料 49 点 ※ 児玉伊織（1867-1936）明治 32 年宮崎町長、明治 44 年から昭和 6 年まで宮崎県会議員を務めた。
11	一木文書	昭和 30（1955）年に写された江戸時代の関孝和系和算書 25 点
12	正念寺文書	寛文 6 年の「延岡藩中宗門改帳」や「稻津掃部合戦記写本」、「鹿児島県地誌略」など 18 点の文書 ※ 正念寺：延岡藩高千穂郷田原（高千穂町）
13	三ヶ所村役場文書	宝暦期の「佐藤信安日記」、享保期の「二又村春秋御銀調帳」ほか 13 点の文書 ※ 西臼杵郡三ヶ所村役場および桑之内村役場（両村とも五ヶ瀬町）旧蔵
14	佐土原藩島津文書	領地目録、宣旨、口宣案、安堵状など 214 点の文書 ※ 佐土原藩島津家の文書
15	佐土原藩嶋津家日記	江戸時代の佐土原藩の在所と江戸で書かれた日記 571 点 ※ 佐土原藩に関する日記
16	高鍋藩本藩実録	「高鍋藩本藩実録」、「続本藩実録」、「続々本藩実録」など 53 点の文書 ※ 大正 14（1925）年に筆写された高鍋藩藩政資料の写本
17	大雄寺文書	江戸中期から明治後期までの大雄寺関連の過去帳 20 点 ※ 大雄寺：東臼杵郡美郷町西郷田代にある寺
18	青山文書	文久 2（1862）年「日州佐土原御検地名寄帳」と万延元（1860）年「日州佐土原御検地竿折帳写」の 2 点 ※ 鹿児島藩主導で行われた検地
19	嶠南文庫	「康熙字典」、「西国盛衰記」、「古簡雑纂」、「日向纂記」、「嶠南日記」など 590 点の文書 ※ 平部嶠南（1815-90）幕末期の飢肥藩の学者・家老
20	秋月文書	「秋月種長家譜」、「秋月家御一門之覚」、「秋月家旧記」など 52 点の文書 ※ 高鍋藩秋月家の文書
21	佐土原藩島津家文庫	佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍 992 点
22	杉田文庫	「賦何人連歌」、「朗詠詩俳諧両吟」、「松尾芭蕉肖像」、「夏目漱石俳句短冊」など約 6,000 点 ※ 杉田直氏、正臣氏 2 代にわたって収集された俳諧関係資料
23	古典籍類 ※ 島津家文庫を除く	「大日本史」、「成形図説」、「春秋左氏伝」、「資治通鑑」など約 5,000 点 ※ 公的機関・大名家・個人から収集した古典籍

これらの蔵書の中には置県 100 年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約 12,000 点も含まれており、また、貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約 2,000 点も保存している。

## (4) 資料整備状況

## ① 資料受入（令和5年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和4年度受入資料数	総資料数
図 書（A）	13,007	759,975
逐次刊行物（B）	5,288 新聞46種・雑誌442種	59,263
A V 資料（C）	72	18,024
合 計（A+B+C）	18,367	837,262

## ② 資料受入区分別・分類別資料数（令和5年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総記	953	327			40	57				1,377
1 哲学	384	53					1			438
2 歴史	945	230	2			12	2		2	1,193
3 社会科学	2,966	1,536	9		24		11		98	4,644
4 自然科学	1,407	278	4				10		1	1,700
5 技術	1,526	374	9				9			1,918
6 産業	863	525	11				3			1,402
7 芸術	1,513	235	37				15		13	1,813
8 言語	191	16					2			209
9 文学	3,148	480					45			3,673
計	13,896	4,054	72		64	69	98		114	18,367

## (5) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（令和5年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	221
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,067
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,731

## (6) デジタルアーカイブの状況（令和5年3月31日現在）

本館に収蔵されている佐土原藩島津家文書、嶺南文庫などの貴重資料について、デジタル化を進めて、順次デジタルアーカイブで公開している。令和4年度は172点、約20,770コマを公開した。

電子化終了点数	公開している点数	令和4年度アクセス数
4,373点 約20万コマ	1,158点 約6万コマ	2,361件

## 2 事業実績

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応の概要

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の第6波、第7波、第8波の影響を受けたが、臨時休館をすることなく、感染防止対策及び一部サービスの制限等を実施しながら開館した。

#### ① 感染防止対策の実施内容

- ・ 常時換気、感染防止ボードの設置、消毒液の設置・常備、手すり等共用部の消毒、閲覧室等の座席数削減、学習室の開放、屋外返却用ポストの常時開放、サーマルカメラ設置等を継続
- ・ みどりの部屋にパーテーションを設置
- ・ 閲覧室出入口のBDS（ブックディテクションシステム）を非接触型に更新

#### ② 令和4年度対応記録

##### ア 4月1日～6月19日

1月16日から継続して宮崎市が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域に「医療緊急警報」等発令

- ・ 閲覧室・児童室の一部座席使用休止、滞在時間の制限
- ・ 新聞・AV・パソコンコーナーは座席数を減らして開放、検索用パソコンの利用制限
- ・ 学習室、談話室みどりは座席数を減らして開放
- ・ 授乳室の利用休止
- ・ 貸館・見学対応の休止
- ・ イベントの一部開催中止

##### イ 7月3日～10月11日

宮崎市及び東諸県圏域が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域に「医療非常事態宣言」等発令

- ・ 閲覧室・児童室の一部座席使用休止
- ・ 対面レファレンスの休止
- ・ 新聞・AV・パソコンコーナーは座席数を減らして開放
- ・ 学習室、談話室みどりは座席数を減らして開放
- ・ イベントの一部開催中止

##### ウ 11月8日～2月20日

宮崎市及び東諸県圏域が感染急増圏域（赤圏域）に指定された後に、県下全域に「医療非常事態宣言」等発令

- ・ 閲覧室・児童室の一部座席使用休止
- ・ 新聞・AV・パソコンコーナーは座席数を減らして開放
- ・ 学習室、談話室みどりは座席数を減らして開放
- ・ イベントの一部開催中止

※ 資料の貸出・返却や予約受付、利用券登録、複写サービス、レファレンスサービス（メール、電話、FAX）、マイラインなどの基本的なサービスは継続して実施した。

(2) 利用事業（団体等貸出を含む）

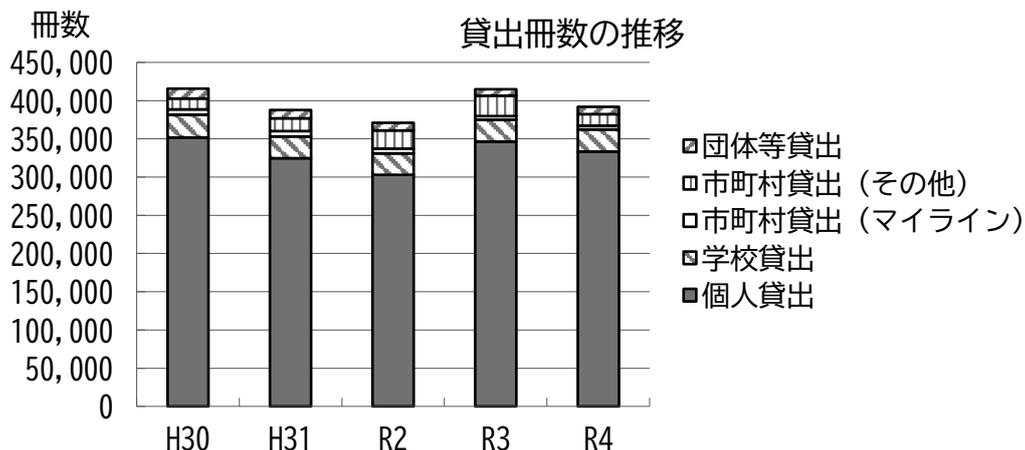
① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出 (1開館日当たり)	351,695	324,730	303,006	346,176	333,479	
	A マ イ ラ イ ン	7,143	7,155	6,112	5,084	5,196	
	B 子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト	1,020	1,140	1,110	1,170	1,080	
	や ま び こ 文 庫	C 町 村 支 援	11,550	11,400	9,820	10,950	11,690
		D 学 校 支 援	29,550	28,450	27,970	28,710	28,610
		E 大 量 貸 出 支 援	1,604	4,157	12,879	14,608	2,387
		F 児 童 教 育 施 設 等 支 援	5,037	3,790	4,034	3,577	4,432
	G セ ッ ト 文 庫	4,850	3,975	4,369	2,650	2,201	
	H 団 体 貸 出	3,140	2,758	1,630	2,082	2,906	
	I 視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	17	40	29	21	23	
	合 計	415,606	387,595	370,959	415,028	392,004	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和元年度は令和2年3月5日から3月26日までの19日間、令和2年度は令和2年4月21日から5月10日までの18日間は臨時休館となった。（いずれも通常休館除く。）

\* A～Iの事業について

- A ・県立図書館の資料を居住している市町村立図書館・室を通して予約・借受できるシステム
- B ・町村の図書館・室を対象に育児書や幼児用絵本のセットを貸し出す事業（4か月間、1セット30冊、年3回）
- C ・町村の図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- D ・町村立小・中学校（へき地指定校のうち1級地以上）及び県立特別支援学校等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- E ・市町村図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（1年間、1,000冊まで）
- F ・県内の児童教育施設等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- G ・町村立図書館・室及び町村立学校・県立特別支援学校を対象に、セット組みした市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業
- H ・県内の読書団体を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- I ・県内の社会教育団体等を対象に視聴覚資料を貸し出す事業（10日間、5本まで）



② 貸出利用地区別内訳（令和4年度）

単位(冊)

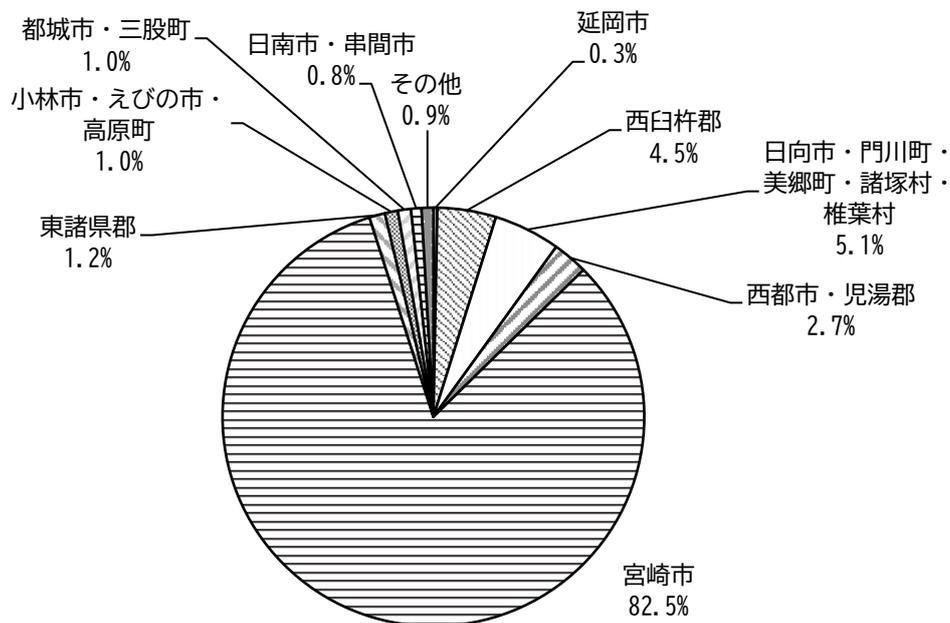
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	796(0.2)	298(5.7)	2(0.1)	0(0.0)	-	1,096(0.3)
西 白 杵 郡	125(0.1)	498(9.6)	16,090(34.1)	580(26.4)	180(4.5)	17,473(4.5)
日向市・門川市 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	761(0.2)	954(18.4)	16,493(35.0)	1,172(53.2)	450(11.3)	19,830(5.1)
西都市・児湯郡	6,871(2.1)	916(17.6)	2,492(5.3)	57(2.6)	360(9.0)	10,696(2.7)
宮 崎 市	312,437(93.7)	408(7.9)	7,812(16.6)	0(0.0)	2,906(72.9)	323,563(82.5)
東 諸 県 郡	4,207(1.3)	440(8.5)	0(0.0)	26(1.2)	-	4,673(1.2)
小林市・えびの市 ・高原町	1,160(0.3)	315(6.1)	2,100(4.5)	83(3.8)	90(2.3)	3,748(1.0)
都城市・三股町	2,851(0.9)	623(12.0)	630(1.3)	0(0.0)	-	4,104(1.0)
日南市・串間市	937(0.3)	744(14.3)	1,500(3.2)	0(0.0)	-	3,181(0.8)
そ の 他	3,334(1.0)	-	-	283(12.9)	-	3,617(0.9)
合 計	333,479	5,196	47,119	2,201	3,986	391,981

※ ( ) 内はパーセンテージ

※ 団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和4年度）



(3) 館内利用事業

① 入館者及び貸出利用等

ア 年度別貸出利用状況の推移

年度 区分	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
開館日数(日)	300	278	277	296	298
入館者数(人)	475,346	427,575	307,705	289,561	187,141
	1,584	1,538	1,111	978	-
登録者数(人)	7,700	7,096	5,509	6,015	5,868
累計登録者数(人) (1開館日あたり)	279,076	286,172	291,681	297,696	303,564
	26	26	20	20	20

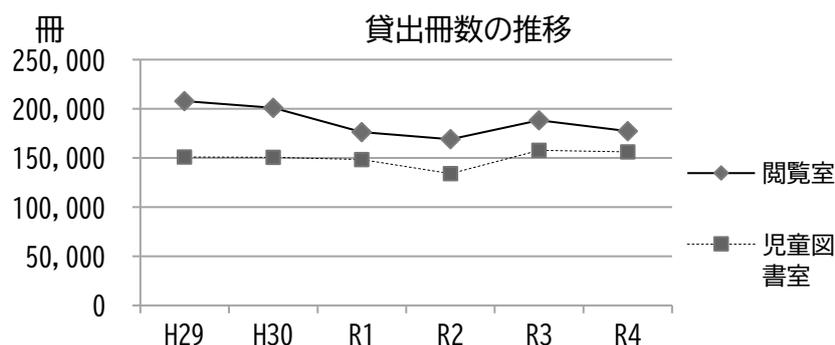
※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の入館者数はカウントされていない。

イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移

単位(人・冊)

年度 区分	H29		H30		R1		R2		R3		R4	
	延入室 者数	貸出 冊数										
閲覧室	388,707	207,815	376,527	200,953	328,555	176,305	208,180	168,980	190,251	188,413	138,023	177,306
児童図書室	114,832	150,880	113,307	150,742	102,180	148,425	87,359	134,026	97,959	188,413	63,317	156,173
計	503,539	358,695	489,834	351,695	430,735	324,730	295,539	303,006	288,210	346,176	201,340	333,479
1日 平均	1,684	1,200	1,633	1,172	1,549	1,168	1,067	1,094	974	1,170	-	1,119

※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の延入室者数はカウントされていない。



ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数（令和4.4.1～令和5.3.31 開館日数298日）

単位(人・冊)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0歳～6歳		680		2.3	159
	7歳～12歳		555		1.9	140
	13歳～15歳		157		0.5	10
	16歳～18歳		149		0.5	7
	19歳～22歳		329		1.1	16
	23歳～		3,998	233,891	13.4	785
計	187,141	5,868	333,479	-	19.7	1,117
累計 (昭和63年度以降)	18,445,755	303,564	13,406,986			

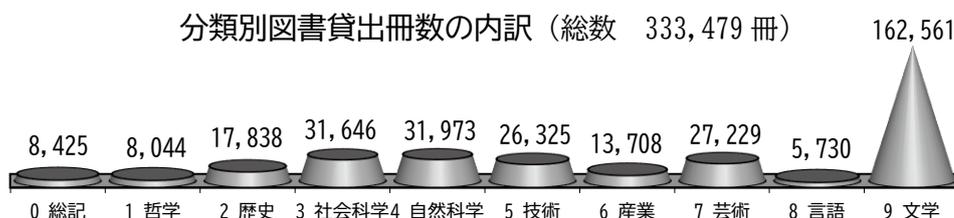
エ 分類別図書貸出冊数(令和4.4.1～令和5.3.31 開館日数298日)

単位(冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均
0 総記	6,692	1,733	8,425	28	6 産業	10,608	3,100	13,708	46
1 哲学	6,971	1,073	8,044	27	7 芸術	16,988	10,241	27,229	91
2 歴史	13,677	4,161	17,838	60	8 言語	3,886	1,844	5,730	19
3 社会科学	25,920	5,726	31,646	106	9 文学	54,460	108,101	162,561	546
4 自然科学	18,028	13,945	31,973	107					
5 技術	20,076	6,249	26,325	88	合計	177,306	156,173	333,479	1,119

※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度（9月から1月）の入館者数はカウントされていない。

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 333,479冊）



オ 相互貸借件数(令和4.4.1～令和5.3.31 開館日数298日)

単位(件)

年度	区分	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
R4		0	480	204	684

カ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位(本)

区分	年度	H30	R1	R2	R3	R4
利用本数		4,809	3,311	1,627	922	1,341
1日平均		16	12	6	5	5

※ AVコーナーは、令和2年5月から令和4年2月まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため4台の機器で運用していたが、県の医療非常事態宣言が解除されたことに伴い、座席制限を解除し、令和5年2月から6台の機器で運用している。

キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）（令和4年度）

単位（件・人）

利用件数	16	利用人数	95
------	----	------	----

② その他サービス等

ア 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和4年度）

単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	4,548	1,679	1,120	378	22	7,747

〈相談事例〉

- ・ 「さんずい」に「非」、その下に「モ」という漢字の読みが知りたい。
- ・ 伊藤家家臣の川崎家（河崎家）の系図が掲載されている書籍・資料等はないか。
- ・ 青島（青島・曾山寺）温泉の歴史について記載のある資料はないか。

イ YA(ヤングアダルト)サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年コーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,500冊）



青少年コーナー

## ウ 児童サービス

### ○ 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、図書館職員やボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

〈読み聞かせ利用者数〉（令和4年度）

単位(人)

曜日	実施回数	内 訳		計	1回当たり
		こども	大人		
火曜日	40	198	274	472	11.80
水曜日	43	273	247	520	12.09
土曜日	0	0	0	0	0
計	83	471	521	992	11.95

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため1階ロビーで時間を短縮して実施した。土曜日は、ストーリーテリングを中心とした内容でありロビーでの実施は困難なため中止した。



### ○ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約350冊）

## エ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌、資格取得関連図書等を配架している。

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成22年4月1日）を締結している。令和2年度は、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー等を実施したが、令和3年度以降は新型コロナ感染拡大のため、実施していない。



ビジネス関連雑誌コーナー



資格取得関連資料・ビジネス関連情報誌

## オ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

### ○ 「声に出して言葉を楽しもう会」の実績

令和4年9月29日（木） 参加者 10人

令和4年11月25日（金） 参加者 16人



## カ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸し出しを平成27年3月から実施している。

閲覧室内に「読む」サポートコーナーを設け、マルチメディアデジ（文章を音声で聞きながらパソコン画面上で絵や写真を見ることができる）、LLブック（写真、絵記号、分かち書きなどを用いた視覚的に分かりやすい本）などを設置し、通常の本では読書が困難な利用者に対する支援を行っている。

### ○ 視覚障がい者等サービス利用登録者

令和4年度（新規） 3人

令和4年度末計 44人

### ○ 視覚障がい者等サービス延べ利用数

令和4年度 1,170点



## キ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者へ供している。

### 〈利用者数〉（令和4年度）

- ・ インターネット専用パソコン 延べ 1,579人
- ・ 持込用パソコン席 延べ 3,987人
- ・ データベース席 延べ 277人

### 〈当館で利用できる有料データベース〉

データベース名	内 容
宮日データベース	2001年4月以降に掲載された宮崎日日新聞の記事をキーワード検索
宮崎県郷土紙 デジタルアーカイブ	明治26年8月以降の宮崎県郷土紙を閲覧
官報情報検索サービス	1947年5月3日分から当日発行分までの官報の内容を日付やキーワードを指定して検索・閲覧

D1-Law.com	日本の法令、判例の文献情報を検索
ジャパンナレッジ	70以上の辞事典、叢書、雑誌を検索
ルーラル電子図書館	『現代農業』や『季刊地域』など、農文協が発行した雑誌や書籍を閲覧
JDreamIII	国内外の科学技術や医学薬学関係の文献情報を検索



インターネット専用パソコン



データベース専用パソコン



持込用パソコン席

#### ク 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
件数	4,802	4,267	2,880	2,749	2,989
枚数	32,597	33,898	22,841	27,815	25,561

#### ケ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※ レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

##### ○ 法律相談

- ・ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日）  
令和4年度実施数 8回（7月・11月・1月は申込みゼロのため中止）  
令和4年度参加者数 11名

##### ・ 県下一斉無料相談会

令和5年2月26日（日） 相談者数 40名

##### ○ 不動産相談

###### 不動産無料相談会

令和4年4月9日（土） 相談者数 16名 相談件数 17件  
令和4年10月8日（土） 相談者数 15名 相談件数 12件

##### ○ ランタンのつどい

###### 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

令和4年度 実施数 12回 参加者数 64名

##### ○ まちの保健室

相談者数（令和4年度） 延べ 222人

##### ○ 令和4年度がんサロン

令和5年2月17日（金） 参加者 26人

(4) 館外利用事業

① やまびこ文庫

やまびこ文庫は、市町村・団体支援用専門資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援等を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和4年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	1,500		美郷町立南郷図書館	1,400
日之影町	日之影町立図書館	900	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	300	木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	90
				合 計	11,690

〈学校支援事業〉

令和4年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	学校名	貸出冊数	市町村名	学校名	貸出冊数	
高千穂町	押方小学校	360	椎葉村	椎葉小学校	630	
	田原小学校	900		尾向小学校	900	
	岩戸小学校	1,500		不土野小学校	1,500	
	上野小中学校	1,500		大河内小学校	840	
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		松尾小学校	1,200	
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,330	宮崎市	椎葉中学校	450	
	三ヶ所小学校	1,500		明星視覚支援学校	300	
	坂本小学校	1,500		赤江まつばら支援学校	360	
	上組小学校	1,200		みなみのかぜ支援学校	600	
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		清武せいりゅう支援学校	1,200	
諸塚村	諸塚小学校	1,170	宮崎市	宮崎海洋高等学校	400	
日之影町	日之影中学校	750		都城市	都城さくら聴覚支援学校	630
西米良村	西米良中学校	600	日南市	日南くろしお支援学校	1,500	
美郷町	美郷北義務教育学校	900	日向市	日向ひまわり支援学校	900	
	美郷南学園	840	新富町	児湯るびなす支援学校	900	
				小林市	小林こすもす支援学校	600
				合 計	28,610	

イ 市町村・団体支援用専用資料での貸出による支援

市町村・団体支援用専用資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和4年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
延岡市	延岡市立図書館	2	都農町	都農町民図書館	1,706
美郷町	美郷町立西郷図書館	625	宮崎市	高岡農村環境改善センター図書室	520
	美郷町立北郷図書館	638	合 計		2,387

〈児童教育施設等支援事業〉

（令和5年4月1日現在）

単位（施設・冊）

登録施設数	23	貸出冊数	4,432
-------	----	------	-------

② セット文庫

町村立図書館・室及び町村立学校、県立特別支援学校を対象にセット組された資料を貸出し、読書環境整備や調べ学習を支援する。令和3年度に要項を一部改訂し、令和4年度から運用を開始した。

令和4年度 貸出冊数

単位（冊）

学校名		貸出冊数	図書館・図書室名		貸出冊数
国富町	国富町立森永小学校	142	美郷町	美郷町立西郷図書館	413
	国富町立八代小学校	31		美郷町立北郷図書館	434
	国富町立木脇中学校	26		美郷町立南郷図書館	220
都農町	都農町立都農南小学校	57	都農町	都農町民図書館	110
高千穂町	高千穂町立岩戸小学校	30	高千穂町	高千穂町立図書館	434
	高千穂町立高千穂小学校	19	日之影町	日之影町立図書館	70
日之影町	日之影町立宮水小学校	27	高原町	高原町中央公民館図書館	24
高原町	高原町立広原小学校	59	椎葉村	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	90
県立	日向ひまわり支援学校	15	合 計		2,201

### ③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈令和4年度 貸出状況〉

市町村名	図書館・図書室名	市町村名	図書館・図書室名
高千穂町	高千穂町立図書館	美郷町	美郷町立西郷図書館
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室		美郷町立北郷図書館
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室		美郷町立南郷図書館
川南町	川南町立図書館	高原町	高原町中央公民館図書室
高鍋町	町立高鍋図書館	木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室
都農町	都農町民図書館	椎葉村	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」

### ④ 団体文庫

令和5年度（令和5年4月1日現在）

登録団体数	24	利用実績	2,906（貸出冊数＋読書振興室利用回数）
-------	----	------	-----------------------

### (5) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績

〈令和4年度 貸出状況〉

#### ① 公共図書館・室

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎市立佐土原図書館	44	都農町民図書館	286
都城市立図書館	266	門川町立図書館	14
都城市立高城図書館	5	美郷町立西郷図書館	240
延岡市立図書館	263	美郷町立北郷図書館	223
延岡市立図書館北方分館	5	美郷町立南郷図書館	56
延岡市立図書館北浦分館	12	高千穂町立図書館	122
延岡市立図書館北川分館	13	宮崎市田野公民館図書室	0
日南市立図書館	446	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	47
小林市立図書館	157	都城市山之口地区公民館図書室	3
日向市立図書館	310	都城市山田総合センター図書室	68
串間市立図書館	155	都城市高崎たちばな学び館	13

西都市立図書館	84	高原町中央公民館図書室	98
えびの市民図書館	55	西米良村立図書室	12
三股町立図書館	130	木城町総合交流センターリパリス図書室	87
国富町立図書館	275	諸塚村中央公民館図書室	3
綾てるは図書館	165	椎葉村図書館	26
町立高鍋図書館	133	日之影町立図書館	183
新富町図書館	238	五ヶ瀬町教育委員会図書室	108
川南町立図書館	38	小 計	4,383

② 県立学校

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
県立五ヶ瀬中等教育学校	81	県立日向工業高等学校	7
県立日向高等学校	72	県立宮崎西高等学校	127
県立富島高等学校	3	県立福島高等学校	37
県立宮崎南高等学校	0	県立都城泉ヶ丘高等学校	138
県立佐土原高等学校	0	県立延岡星雲高等学校	5
県立宮崎商業高等学校	131	県立高千穂高等学校	4
県立日南振徳高等学校	25	県立飯野高等学校	5
県立都城農業高等学校	0	県立小林高等学校	42
県立宮崎北高等学校	43	県立延岡商業高等学校	30
県立高鍋高等学校	4	県立宮崎工業高等学校	7
県立宮崎東高等学校	0	県立高鍋農業高等学校	2
県立妻高等学校	34	小 計	797

③ 大学

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎大学附属図書館本館	15	県立看護大学	1
宮崎大学附属図書館医学分館	0	小 計	16

単位（冊）

①～③の合計	5,196
--------	-------

(6) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館・室や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和 4 年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、45 回行った。また、要請訪問の依頼は 6 件あったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 1 件が中止となり、5 回訪問を行った。

〈令和 4 年度訪問状況〉

① 定期訪問

期 日	訪問施設名	期 日	訪問施設名
5 月 26 日	宮崎市田野公民館図書室	9 月 1 日	延岡市立図書館本館・北川分館
	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	9 月 5 日	串間市立図書館
5 月 27 日	五ヶ瀬町教育委員会図書室	9 月 7 日	諸塚村教育委員会図書室
5 月 30 日	綾てるは図書館	9 月 9 日	都城市立図書館・高城図書館
6 月 1 日	日南市立図書館（本館・まなびピア・北郷・南郷）	9 月 14 日	小林市立図書館（本館・野尻分館・須木分館）
6 月 3 日	美郷町立図書館（南郷・北郷・西郷）	9 月 21 日	川南町立図書館
6 月 6 日	高千穂町立図書館		高鍋町立図書館
		日向市立図書館	9 月 26 日
6 月 8 日	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	9 月 27 日	宮崎市立佐土原図書館
6 月 10 日	三股町立図書館	9 月 28 日	えびの市民図書館
6 月 16 日	延岡市立図書館北方・北浦分館	1 月 30 日	木城町総合交流センターリパリス図書室
6 月 17 日	新富町立図書館	10 月 3 日	都城市山之口地区公民館図書室
	西都市立図書館	10 月 5 日	宮崎市清武文化会館図書室
6 月 22 日	門川町立図書館		宮崎市きよたけ児童文化センター図書室
6 月 24 日	高原町中央公民館図書室	10 月 13 日	都城市高崎たちばな学び館
	都城市山田総合センター図書室	10 月 14 日	国富町立図書館
6 月 27 日	西米良村立図書室	10 月 25 日	宮崎市立図書館
6 月 29 日	都農町民図書館		

② 要請訪問

対象	期 日	要請依頼施設名（要請内容）
市町村立図書館・室	1 月 11 日	えびの市民図書館（読書活動支援）
県立学校	5 月 16 日	県立小林高等学校（学校図書館運営支援）
	7 月 5 日	県立宮崎西高等学校（学校図書館運営支援）
	11 月 5 日	県立日南くろしお支援学校（読書活動支援）
	1 月 25 日	県立日南くろしお支援学校（読書活動支援）

(7) アドバイザー派遣

各図書館・室の要望に応え県立図書館職員を講師として派遣する。

〈令和4年度派遣状況〉

派遣日	希望館・室	派遣メニュー
10月3日	綾てるは図書館	Web 情報を活用したレファレンス
10月3日	西都市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (アニメーション・ブックトーク)
10月17日	日向市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性
10月26日	椎葉村図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (アニメーション・絵本ライブ)
10月27日	日之影町立図書館	地域資料・行政資料の収集と活用
10月31日	串間市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (ブックトーク)
11月10日	都城市立図書館	地域資料・行政資料の収集と活用
11月24日	川南町立図書館	ウィキペディアタウン
11月24日	都農町民図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (乳幼児対象の読み聞かせ)
12月1日	小林市立図書館	地域資料・行政資料の収集と活用 歴史資料の活用
12月5日	高千穂町立図書館	ブックピクニック おすすめ本等の紹介文募集事業
12月19日	日南市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性
1月6日	延岡市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (イベントや手遊びの事例の実践方法等)
1月6日	延岡市立図書館	ブックピクニック おすすめ本等の紹介文募集事業
1月24日	宮崎市立佐土原図書館	子どもたちの読書活動の重要性
1月27日	延岡市立図書館	資料の修理

(8) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸し出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出利用状況 単位 (貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人)

令和4年度	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出件数	利用回数	利用者数
合 計	23	30	1,815	13	14	568

## ② 視聴覚行事

### 〈映写会〉

#### ア 図書館子ども映写会

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月8日(日)	「くまのアーネストおじさんとセレスティース」	31
合 計			31

#### イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	7月6日(水)	「スペシャルズ! 政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男達の実話」	13
2	9月28日(水)	「南の島の大統領 一沈みゆくモルディブ」	16
3	12月3日(土)	「だれもか愛しいチャンピオン」	21
4	3月8日(水)	「紅い襷/富岡製糸場物語」	66
合 計			31

### 〈メモリアル宮崎～郷土を知ろう～〉

これまでの宮崎県の歩みを知り、興味をもつきっかけになるよう、本館所蔵の郷土に関する貴重な16ミリフィルムの上映会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	11月6日(日)	「宮崎県政だよりNO.5」「動く図書館やまびこ号」「日本ザルその群れと生活」	4
2	1月18日(水)	「宮崎県政だよりNO.2」「刈干切歌」	9
合 計			13

### 〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	6月19日(日)	レコードコンサート 「映画音楽特集・リクエスト特集(令和3年度のアンケートより)」	43
2	11月13日(日)	演奏団体「花のワルツ」による生演奏・県立図書館職員による読み聞かせ	186
合 計			229



レコードコンサートの様子



生演奏コンサートの様子

(9) 閲覧室内展示

① 特設展示コーナー

閲覧室入口近くにコーナーを設けて、各担当毎にテーマを設けて書籍の紹介を行った。

回	期間	特設展示コーナー内容	担当
1	4月5日 ～ 5月8日	県立図書館設置 120 周年	郷土
2	5月10日 ～ 6月5日	空をよむー空に関する本ー	情報提供
3	6月7日 ～ 7月3日	「緑陰コンサート」で使用するレコードの展示	普及
4	7月5日 ～ 7月31日	外箱	資料管理
5	8月2日 ～ 9月11日	飛行機の知らない世界 ～日本初の民間パイロット・後藤勇吉～	郷土
6	9月13日 ～ 10月3日	声に出して歌ってみたい館歌 ～宮崎県立図書館の歌～	郷土
7	10月4日 ～ 10月30日	中近世の歴史に関する書籍	郷土
8	11月1日 ～ 11月20日	文庫と図書館	企画
9	11月22日 ～ 12月18日	メモリアル宮崎	普及
10	12月20日 ～ 1月22日	鉄道開業 150 年	資料管理
11	1月24日 ～ 2月26日	日本の漁業	郷土
12	2月28日 ～ 3月31日	外国語で知る宮崎県	情報提供

② 産廃基金コーナー

宮崎県産業廃棄物税基金により購入した、環境に関連した資料を集めたコーナー。

③ 企画展示コーナー

月ごとに図書館司書がテーマを設定し、それに合った選書をしている。テーマは、時節に合わせたもの（例：新しい生活や出会い、防災を考える）や社会の動きに合わせたもの（例：芥川賞、直木賞、本屋大賞）にしており、貸し出しも多い。さらに、書庫にある児童文学と絵本を展示しているコーナーもある。書庫の児童文学や絵本は、児童室の貸し出し5冊に含まれないことから、たくさんの本を借りたい利用者の利用が多い。また、児童室が閉館する 17 時以降の利用も多い。

このほか、新着資料コーナー横では、図書館司書や名誉館長のおすすめ本をポップや解説文とともに展示し、貸し出しを行っている。

④ 博物館との連携展示

博物館が主催する夏と秋の特別展に合わせて関連展示を行った。

期間	展示コーナー内容
4月29日 ～ 6月12日	SSP展
7月9日 ～ 9月4日	モンスター水族館～深海魚とサメのひみつ～
11月5日 ～ 12月11日	発掘された日本列島 2022



産廃基金コーナー



発掘された日本列島 2022 の様子

(10) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

〈令和4年度実績〉 ◎主催 ○共催

節	内 容	期 日
1	○みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	4月6日(水)～
	○家畜伝染病「特別防疫月間」企画展（家畜防疫対策課）	4月17日(日)
2	◎こどもの読書週間企画展（県立図書館）	4月19日(火)～ 5月8日(日)
3	○県民との協働パネル展（生活・協働・男女参画課）	5月11日(水)～
	○消費生活問題啓発パネル展（生活・協働・男女参画課）	5月29日(日)
4	○令和4年度「土砂災害防止月間」パネル展（砂防課）	6月1日(水)～
	○みどりの特別企画展（環境森林課）	6月12日(日)
5	○思春期こころの健康（障がい福祉課）	6月15日(水)～
	○男女共同参画パネル展（生活・協働・男女参画課）	6月26日(日)
6	◎みやざき「陸・海・空」交通パネル展（県立図書館(総合交通課)）	6月28日(火)～ 7月18日(月・祝)
7	○もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	7月21日(木)～
	○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク及び霧島ジオパークの魅力について（中山間・地域政策課）	7月31日(日)
8	○農畜水産業の技術最前線（農業普及技術課）	8月3日(水)～ 8月14日(日)
9	○土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展（環境管理課）	8月17日(水)～
	○森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	8月28日(日)
10	○「記紀・万葉でたどる奈良」・「神話の源流 みやざき」合同パネル展（みやざき文化振興課）	8月31日(水)～
	○世界に旅立った宮崎県人たちの歩み（オールみやざき営業課）	9月11日(日)
11	◎NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」全国巡回展（県立図書館）	9月13日(火)～ 9月19日(月・祝)
12	◎宮崎・学生ビジネスプランコンテスト関連企画展（県立図書館）	9月21日(水)～ 10月10日(月・祝)
13	◎秋の読書週間企画展（県立図書館）	10月18日(火)～ 11月6日(日)
14	○女性に対する暴力をなくす運動パネル展（生活・協働・男女参画課）	11月9日(火)～
	○里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン（こども家庭課）	11月20日(日)
15	○地球温暖化防止ギャラリー展（環境森林課）	11月23日(水)～
	○シニアパワー宮崎づくり企画展（長寿介護課）	12月4日(日)
16	○人権啓発パネル展（人権同和対策課）	12月7日(水)～
	○犯罪被害者支援に関する企画展（県民広報課）	12月25日(日)
17	○宮崎の古墳文化パネル展（文化財課）	1月6日(金)～
	○中山間地域をみんなで支える県民運動（中山間・地域政策課）	1月15日(日)

18	○宮崎中小企業大賞（商工政策課）	1月18日(水)～
	○インフラストック効果パネル展（技術企画課）	1月29日(日)
19	○サイバー犯罪被害防止パネル展（サイバー犯罪対策課）	2月15日(水)～
	○統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	2月26日(日)
20	○みやぎきの「ひと」（みやぎき文化振興課）	3月1日(水)～
	○令和4年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展（税務課）	3月12日(日)
21	○ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	3月15日(水)～
	○NOSA I「宮崎の農村」写真コンテスト（農政企画課）	3月26日(日)
		合計 36事業



## ② 県内公共図書館（室）における巡回展

〈令和4年度実績〉

	場 所	内 容	時 期
1	宮崎市立佐土原図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	8月
		里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン（こども家庭課）	11月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	1月・2月
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	5月
		みやぎき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	7月
		森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	10月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	12月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	3月
3	延岡市立図書館	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークについて（中山間・地域政策課）	5月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	7月
		土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展（環境管理課）	12月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	2月・3月
4	日向市立図書館	みやぎき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	5月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	10月
5	西都市立図書館	宮崎の古墳文化パネル展（文化財課）	5月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	6月
		シニアパワー宮崎づくり企画展（長寿介護課）	9月
		霧島ジオパークについて（中山間・地域政策課）	10月
		県民との協働パネル展（生活・協働・男女参画課）	2月

6	三股町立図書館	県民との協働パネル展（生活・協働・男女参画課）	9月
		ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	12月
7	新富町図書館	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	6月・7月
		里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン（こども家庭課）	10月
8	都農町民図書館	統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	6月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと（企業局総務課）	9月
		祖母・傾・大崩ユネスコエコパークについて（中山間・地域政策課）	11月
		ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	1月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	2月・3月
9	川南町立図書館	みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	5月・6月
		ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	7月
		シニアパワー宮崎づくり企画展（長寿介護課）	1月
10	高千穂町立図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	5月
		シニアパワー宮崎づくり企画展（長寿介護課）	10月
		みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	1月
		ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	2月
11	門川町立図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	7月
12	五ヶ瀬町教育委員会図書室	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	3月・4月
		県民との協働パネル展（生活・協働・男女参画課）	5月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	6月
13	高岡地区農村環境改善センター図書室	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	11月
14	日南市立まなびピア図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	11月・12月
15	日南市立図書館(本館)	霧島ジオパークについて（中山間・地域政策課）	8月
		宮崎の古墳文化パネル展（文化財課）	11月
		みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	11月
		ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	1月
16	日南市立南郷図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	6月
		みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	9月
17	日南市立北郷図書館	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	9月
18	美郷町立北郷図書館	ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	6月
		森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	7月・8月
		ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	9月
		宮崎の古墳文化パネル展（文化財課）	10月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	11月
19	都城市山田総合センター図書室	統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	7月
20	諸塚村中央公民館図書室	中山間地域をみんなで支える県民運動	5月
		令和4年度「土砂災害防止」パネル展（砂防課）	7・8月
		みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	8月
21	日之影町立図書館	みやざき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	6月
			合計 21館(室) 58事業

## (11) 文化活動事業

### ① 第 64 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を企画し実施した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大のため一部中止となった。

期 間 令和4年4月19日(火)～5月8日(日)

内 容

ア 企画展示1「SDGs～今わたしたちにできること～」

内 容：SDGs目標12～15に関する本の展示、パネル展示

イ 企画展示2「こどもしつしょうかいコーナー」

内 容：えほん年間貸出数ベスト10、ボランティア紹介、かば先生文庫の紹介など

ウ 特別おはなし会「英語で絵本を楽しもう」

内 容：図書館職員による、英語の絵本の読み聞かせ、英語での手遊び歌

エ 絵本ワークショップ「つくってみよう！アートの世界」

内 容：児童図書室職員によるワークショップ

オ おはなし会

内 容：ボランティア団体、図書館職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ



企画展の様子



絵本ワークショップの様子

### ② 第 76 回「秋の読書週間」関連行事

毎年10月27日の「読書の日」を初日として、この日から11月9日までの期間は「秋の読書週間」とされており、子どもから大人まで様々な世代が本に親しみ、読書を楽しむことを通して文化を育むための啓発期間である。

県立図書館においても、創立120周年を記念する企画展示や講演会などを実施して、本や図書館の魅力を伝える取組を行った。

※ (18) 県立図書館創立120周年記念事業の項目を参照

### ③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。令和4年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

#### 〈特別展〉

「若山牧水」～牧水と旅～

期 間 令和4年9月17日（土）～10月16日（日） 開催日数：24.5日

※ 9月18日（日）と9月19日（月）午前中は台風14号のため臨時休館

内 容 牧水の大正11（1922）年の「みなかみ紀行」の旅から100周年にあたり、牧水と旅に関する展示会を開催した。旅先で詠んだ歌の遺墨（小林邦夫コレクション）や紀行文集などを展示した。

「中近世の日向国」

期 間 令和4年11月1日（火）～12月4日（日） 開催日数：30日

内 容 日向国中世・近世における宮崎平野部の支配者層の変遷や江戸時代における延岡藩・高鍋藩・佐土原藩・飫肥藩の歴史や幕末期の各藩の動向について紹介する展示会を開催した。1587年の第二次高城合戦の布陣図や『日向記』、『佐土原藩嶋津家日記』などを展示した。



特別展「若山牧水」～牧水と旅～の展示状況

#### 〈企画展〉

「宮崎の漁業－歴史と特色を中心に－」

期 間 令和5年1月14日（土）～3月12日（日） 開催日数：41日

内 容 江戸時代末から現在までの県内の海で行われている漁業について、その歴史や特色について、パネルや書籍、船や定置網の模型、写真などを用いて紹介する展示会を開催した。また、明治時代の日高式鰯大敷網を開発した日高亀市・栄三郎親子の業績についても報告書などの資料を通して紹介した。

#### 〈巡回展〉

会場・期間 ○ 巡回展「生命を守る」

宮崎大学附属図書館・・・・・・・・・・5月6日（金）～ 5月30日（月）

日向市立図書館・・・・・・・・・・6月7日（火）～ 7月3日（日）

宮崎日本大学中学校・高校・・・・・・・・7月6日（水）～ 8月1日（月）  
 えびの市歴史民俗資料館・・・・・・・・9月6日（火）～ 9月25日（日）  
 日南市まなびピア・・・・・・・・10月3日（月）～ 10月21日（金）  
 宮崎市立佐土原図書館・・・・・・・・2月15日（水）～ 3月13日（月）

○ 巡回展「宮崎のダム」

三股町立図書館・・・・・・・・7月12日（火）～ 8月21日（日）  
 都農町民図書館・・・・・・・・9月28日（水）～ 10月31日（月）  
 門川町立図書館・・・・・・・・11月3日（水）～ 12月1日（木）  
 諸塚村中央公民館図書室・・・・・・・・1月17日（火）～ 2月17日（金）

内 容 令和2年度に実施した企画展「宮崎のダム」、令和3年度に実施した「生命を守る」を再構成し、県内の市町村立図書館や資料館等公共施設で実施した。

〈共催展〉

「遺跡発掘成果展 2022『再発見！1990年代調査の遺跡～県南・県西編～』」

期 間 令和4年8月19日（金）～9月4日（日） 開催日数：15日

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターが、1990年代に発掘調査を行った県南・県西の遺跡から出土した遺物を、宮崎県埋蔵文化財センターとの共催で展示した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールにおいて次のとおり実施した。

受講者計 35名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	7月16日（土）	「宮崎 酒と魚の文化地理-日本における飲食文化の地域比較-」	宮崎大学教育学部教授 中村 周作 氏	7名
2	8月20日（土）	「好きな場所で好きなことをして生きていく」	ソルクリエイター代表 坂口 潤成 氏	14名
3	9月10日（土）	「『短歌県みやぎ』を目指すために！」	宮崎大学教育学部教授 中村 佳文 氏	14名



第2回文化講座の様子

### 〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料をテキストとして利用して、古文書解読の講座を実施した。

受講者計 81 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6月4日(土)	近世文書に親しむ 「巡見使」	那賀 教史 氏 (県史料筆耕解読員)	21 名
2	7月2日(土)			20 名
3	10月1日(木)	近世文書に親しむ 「佐土原嶋津家日記の中より」	中元 暢一氏 (県史料筆耕解読員)	20 名
4	11月5日(木)			20 名

### (12) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

#### ① 『宮崎県史料』

昭和 49 年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和 4 年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記 (二十四)』を刊行した。(100 部)

#### ② 『宮崎県文化講座研究紀要』

昭和 49 年度から「宮崎県地方史講座」として解説し、平成 19 年度から地域の歴史のみならず、自然科学などの分野にも範囲をひろげることにより、幅広い文化の発信と理解を目指して『宮崎県文化講座』と改称した。本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和 4 年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第 49 輯』を刊行した。(100 部)

#### ③ デジタルアーカイブ事業

1,110 点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成 26 年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

### (13) 広報活動等

#### ① 「緑陰通信」発行事業

昭和 25 年より、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。  
令和 4 年度は、No. 237（6 月）及び No. 238（1 月）を発行した。

#### ② ホームページ等活用事業



県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成 28 年度からフェイスブック、令和 4 年度からインスタグラムページを開設し、随時更新している。

#### 〈主な内容〉

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む 23 館が参加（R4.5.1 時点））
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを経由した資料貸出予約申し込み

#### 〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年度	H30	R 1	R 2 ※1	R 3	R 4 ※2
件数	1,087,461	320,790	243,672	273,502	196,485

※1 令和 2 年度については、システム入替えのため、令和 3 年 2 月中旬から下旬までの件数はカウントされていない。

※2 令和 4 年度については、カウンター不具合のため、令和 4 年 12 月から 1 月までの件数はカウントされていない。

#### 〈フェイスブックページアクセス件数・フォロワー数〉 単位（件・人）

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
アクセス件数	52,138	20,258	19,054	25,618	29,406
フォロワー数	432	488	530	601	649



〈Instagramページアクセス件数・フォロワー数〉

単位 (件・人)

年 度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4 ※
アクセス件数					1,326
フォロワー数					104



※ 令和4年度10月より運用開始したため、10月から3月までのカウント。

③ 職場体験学習・施設見学

〈職場体験学習〉

単位 (人)

実施日	内容	参加者数
5月20日	司書実習 (宮崎学園短期大学)	2
7月14日	教育研修センター派遣研修	3
7月28日	職場体験学習 (日南学園高等学校)	1
合計		6

〈施設見学〉

単位 (人)

実施日	団体名	参加者数
5月20日	宮崎市立潮見小学校	86
7月14日	宮崎公立大学 (日本文学ゼミ)	10
7月28日	みつばちキッズ大淀	5
10月8日	小林子ども連絡協議会 (霧島小林探検隊)	17
10月26日	西郷義務教育学校	8
11月2日	三股町立勝岡小学校	62
11月2日	宮崎市立倉岡小学校	54
11月9日	ひめの会	6
11月11日	新富町立新田小学校	38
11月18日	西都市立三財小学校	19
2月10日	宮崎公立大学 (日本文学ゼミ)	10
3月10日	みやぎき認定こども園	31
合計		346

(14) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、児童図書館の寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けて10年目を迎えた。

〈かば先生文庫整備数〉 (令和5年3月31日現在)

1,993冊 内訳 児童図書室 798冊  
B M 書庫 1,195冊

(15) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催又は県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：研修ホール)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月21日(土) (第51回)	日韓<神話>における自然の配置とその役割	南 邦和 氏(詩人、作家。日本ペンクラブ名誉会員)	68名
2	7月16日(土) (第52回)	宮崎の自然科学研究の現状と将来展望 ーキャリアマネジメントの立場からー	水光 正仁 氏 (次世代研究者支援室長)	32名
3	9月17日(土) (第53回)	「宮崎の野生植物は今」	南谷 忠志 氏 (宮崎植物研究会会長)	35名
4	11月19日(土) (第54回)	「離島の年寄が生物多様性保全活動による島を活性化～ユネスコエコパーク永良部島の試み～」	山口 英昌 氏 (えらぶ年寄り組代表)	36名
5	1月21日(土) (第55回)	本でつなぐ「ひとと自然」	平瀬 清 氏 (みやざき自然塾理事) 青野 雄介 氏 (まちライブラリーTENAMU 主宰) 清家 智子 氏 (県立図書館職員)	47名
6	3月18日(土) (第56回)	「ウクライナの歴史と避難民について考える」	隈元 正行 氏 (宮崎ウクライナ避難民支援ネットワーク会長)	62名

② 「本ってこんなにおもしろい！～読書のアニメーションワークショップ～」

主催：宮崎子どもと本をつなぐネットワーク

五感を使った読み聞かせなどによって想像力や感受性を高めることで、子どもたちに読書の楽しさや魅力を伝える手法であるアニメーションについて、実践的に理解を深めることを目的としたワークショップを開催した。

(会場：研修ホール)

	期 日	内 容	講 師	参加者
	11月19日(土)	講義 「アニメーションってなあに？」 ワークショップ 「まどさんの詩で時間割」	岩辺 泰史 氏 (読書アニメーション研究会)	67名
		ワークショップ 「社会的な視点を持って世界を見つめると…」 講義 「もっとアニメーション！」	笠井 英彦 氏 (読書アニメーション研究会)	

③ 「押し絵本座談会」

主催：エンターテイメントサークルひむか

お気に入りの絵本、子どもたちに読んであげたい絵本を紹介しあい、講師から読み聞かせのポイントを学ぶことで、読み聞かせについて気軽に学ぶことができる座談会を開催した。

(会場：研修ホール)

	期 日	内 容	講 師	参加者
	11月19日(土)	「押し絵本座談会」 「読み聞かせ講座」	粉川 真一 氏 (MRT 宮崎放送アナウンサー)	20名

④ 「宮崎の自然」合同研究発表会

主催：宮崎県総合博物館

県内の自然誌を研究する団体が研究成果を発表し合い、県内の自然史研究を深め、県民の興味・関心を高めることを目的とした研究発表会を開催した。

(会場：視聴覚室)

期 日	演 題	講 師	参加者
3月11日(土)	「新種キリシマギンリョウソウについて」	黒木 秀一 氏	42名
	「霧島山にミヤマキリシマはある？ない？」	南谷 忠志 氏	
	「カタツムリの自家受精」	西 邦雄 氏	
	「大淀川水辺の楽校におけるシルビアシジミの保全」	小松 孝寛 氏	
	「2021年における日向灘沿岸の鯨類ストランディング状況とその動向」	西田 伸 氏	
	「第5回九州山地カモシカ特別調査の結果について」	古中 隆裕 氏	
	「神宮探鳥会の記録から」	岩切 久 氏	
	「宮崎県北部沖積層の土壌中のひ素の存在形態」	伊藤 健一 氏	
	「宮崎の三畳紀示準化石モノチスからの考察」	岡山 清英 氏	
	「宮崎県内のメガロドン化石産地について」	松田 清孝 氏	

(16) 大学及び大学図書館との連携

宮崎大学との間で「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成30年4月1日付けで締結している。

〈主な実績〉

ア 宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展

イ 宮崎大学附属図書館における「若山牧水展」企画展示の実施

ウ マイラインサービスの実施

また、宮崎大学附属図書館、宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）、宮崎県立看護大学附属図書館及び宮崎産業経営大学附属図書館との間で、オンラインによる横断検索システムを接続し運用している。

(17) ラーニング・コモンズ事業「塩月桃甫と中村地平」

ともに本県出身であり活躍した時代も共通する、画家の塩月桃甫と小説家中村地平（当館第23代館長）との関わりについて、高校生が文献等を調査し、紐解いた内容を文章化して紹介するイベントを実施した。イベント終了後は当館のホームページで公開した。

参加者数 6名

開催内容 7月3日(日) オリエンテーション、映画「塩月桃甫」鑑賞等

7月5日(火)～7月17日(日) 調査活動

7月18日(月)～8月11日(木) 編集作業

8月25日(木)～9月19日(月) 再調査、成果共有

3月1日(水) 校正、講評を経て公開

(18) 県立図書館創立120周年記念事業

県立図書館は、明治35(1902)年5月の開館から令和4年5月で120周年を迎えた。時代の流れとともに積み重ねてきたこれまでの図書館活動の歴史を振り返り、県民にさらなる学びの機会を提供するため、各種の記念事業を実施した。主なものは次のとおり。

	時 期	内 容
1	4月5日(火)～ 5月8日(日)	閲覧室入口特設展示「県立図書館設置120年の歴史」(10月のプレ展示)
2	4月27日(水)～ 6月24日(金)	「図書館」や「本」をテーマとした県民短歌募集 ・応募数 677点 ・伊藤一彦名誉館長による選歌(17点)、講評、10月に展示

3	7月3日(日)～ 3月1日(水)	ラーニング・コモンズ事業「塩月桃甫と中村地平」 ※(17)の項目を参照
4	7月3日(日)	ドキュメンタリー映画「塩月桃甫」上映 ・小松孝英監督によるミニ講演も実施 ・参加 59名
5	7月15日(金)～ 9月30日(金)	「やっぱり県立図書館。」と思った本 募集 ・県立図書館の本のエピソードを募集し10月に紹介 ・紹介数 16点
6	9月29日(金)～	新しいデザインの貸出利用券を発行開始 ・塩月桃甫画伯が考案した県立図書館のマークを使ってデザイン化
7	10月18日(火)～ 11月6日(日)	「秋の読書週間」関連行事 ・企画展示 「県立図書館設置120年の歴史」「県民短歌」「やっぱり県立図書館。」 ・尾崎真理子氏 講演会 演題 「日本の『村』と文学—大江健三郎、柳田国男、島崎藤村を繋いで考える」 日時 10月29日(土) 参加 57名 ・メモリアル宮崎～郷土を知ろう～ 内容 旧館の映像を含む16ミリフィルム上映ほか 日時 11月6日(日)

### (19) 研修

図書館職員のスキルアップを図り、図書館サービスの向上につなげるため、県内外の様々な研修等に職員を派遣しているほか、館外の図書館等職員を対象とした研修を実施している。

#### ア 司書講習

期 日	会 場	内 容 等
4月～3月	通信教育 による受講	近畿大学通信教育部図書館司書コース ・基礎科目 ・図書館サービスに関する科目 ・図書館情報資源に関する科目 等

#### イ 新任図書館長研修

期 日	会 場	内 容 等
8月30日～ 9月1日	オンライン 形式	主催 文部科学省、国立大学法人筑波大学 特別講義 ①「現代の図書館建築」 牛込 具之 氏 ((株)佐藤総合計画) ②「北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割」 吉田 右子 氏 (筑波大学) 基本講義 「図書館政策の現状」(文部科学省) ほか

#### ウ 図書館総合展カンファレンス in 鳥取

期 日	会 場	内 容 等
11月26日	鳥取県立 生涯学習 センター	主催 都道府県立図書館サミット運営委員会、図書館総合展運営委員会、鳥取県立図書館 基調講演 「デジタル社会の行き着く先にライブラリアンが果たしうる役割を考える」 清田 陽司 氏 ((一社)情報科学技術協会) 講 演 「デジタル時代のシティズンシップを支えるのは誰か?」 豊福 晋平 氏 (国際大学) 各種セッション

## エ 都道府県立図書館サミット2022

期 日	会 場	内 容 等
11月27日～ 11月28日	鳥取県立 図書館	主催 都道府県立図書館サミット運営委員会、図書館総合展運営委員会、鳥取県立図書館 47 都道府県「自慢」リレートーク 各種セッション ほか

## オ 国立国会図書館関西館開館20周年記念講演・シンポジウム

期 日	会 場	内 容 等
12月8日	オンライン 形式	主催 図書館総合展運営委員会 講 演 「コミュニケーションの進化と図書館の未来」 山極 壽一 氏（総合地球環境学研究所） シンポジウム 「これからの図書館 ―読書はどう変わる？ デジタルでどう変わる？―」

## カ 第108回全国図書館大会群馬大会分科会

期 日	会 場	議 題
10月19日	オンライン 形式	第4分科会 児童サービス 「子どもと家庭に本の喜びを届けるために」 第7分科会 図書館政策評価 「図書館の未来にむけて 図書館計画を考える」
10月24日	オンライン 形式	第10分科会 障害者サービス 「図書館の読書バリアフリーを推進するための基本資料発表」
10月26日	オンライン 形式	第1分科会 公共図書 「地域情報拠点としての公共図書館の方向性を考える」 第3分科会 学校図書館 「ポストコロナ社会における学校図書館」

## キ 宮崎県公共図書館連絡協議会

期 日	会 場	議 題
6月13日	県立図書館 (オンライン併用)	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） 説 明 「図書館ネットワークの活用法について」 「マイラインサービス・やまびこ文庫等について」 講 義 「資料の収集等について」「著作権について」「読書活動の重要性について」
7月25日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 講 義 「ティーンズ・サービス入門」 山重 壮一 氏（オーテピア高知図書館）
8月22日	県立図書館 (オンライン併用)	専門研修 児童サービス 講 義 「児童サービスの意義」 グループワーク 「子どもと本を結ぶ児童サービスの実践」 講 師 伊藤 明美 氏（日本女子大学） 発 表 繁昌 美智代 氏（三股町立図書館）
9月12日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 講 義 「読書活動について」 鈴木 晴子 氏（(公財)東京子ども図書館）
10月11日	県立図書館 (オンライン併用)	専門研修 課題解決型サービス 講 義 「図書館とまちづくり」 講 師 是住 久美子 氏（愛知県田原市図書館） 発 表 小宮山 剛 氏（椎葉村図書館「ぶん文 Bun」）
11月21日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 レファレンス研修会 講義・演習 「法令資料・情報の特徴と検索方法」 牛島 靖政 氏（国立国会図書館）
12月12日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 講 義 「図書館職員が知っておくべき著作権全般」 橋本 阿友子 氏（骨董通り法律事務所弁護士）

### 3 各種協議会等

#### (1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

##### ① 委員（任期：令和 4 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学地域資源創成学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社編集委員室長	斉藤 真広
〃	小林市立図書館長	山下 町子	〃	通所介護施設非常勤職員（公募委員）	鳥海 美幸
学校教育関係者	宮崎県立宮崎西高等学校指導教諭	山崎 俊一	社会教育関係者	(株)HUTTE代表	今西 猛
〃	都城市立明和小学校長	満園 真由美	家庭教育関係者	小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会代表	坂下 実千代
学識経験者	都城島津邸館長	山下 真一	〃	美郷町教育委員（公募委員）	橋口 美帆

※ 所属・職名は令和 5 年 3 月現在（一部委員につき任期途中の交代等あり）

##### ② 令和 4 年度の開催状況

開催年月日	協議事項
令和 4 年 8 月 8 日(月) ※ オンライン形式	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について ウ 県立図書館ビジョン改定について
令和 5 年 2 月 9 日(木)	ア 令和 4 年度の運営状況について イ 宮崎県立図書館ビジョンの一部改定について ウ 令和 5 年度の運営方針等について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

① 令和5年度役員名簿

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	平山 文春	
副会長	宮崎市立図書館長	横山 通夫	
//	五ヶ瀬町教育委員会図書室館長	渡木 秀明	
監事	都農町民図書館長	岩本 繁	
//	門川町立図書館長	大澤 陽一	
顧問	宮崎県市長会長	池田 宜永	都城市長
//	宮崎県町村会長	佐藤 貢	日之影町長

② 令和4年度事業実績  
〈会議〉

期日	会場	議題
5月23日	県立図書館 (オンライン開催)	I 総会 1 令和3年度事業実績及び収支決算報告 2 令和4年度事業計画案及び収支予算案 3 令和4年度役員案 II 令和4年度読書団体等及び公共図書館等職員表彰 III 連絡事項
3月23日	県立図書館	中心館会議 1 令和4年度事業執行状況 2 令和5年度事業 3 市町村負担金・読進協次年度計画

〈研修〉

詳細・内容等は44ページに記載

〈県外研修派遣〉

※ 派遣なし

〈図書館アドバイザー派遣〉

詳細・内容等は29ページに記載

③ 令和4年度総会表彰者名簿  
〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代表者名
読み聞かせボランティアグループ大きな木(西都市)	喜多 雅美
え本読み隊(諸塚村)	田丸 ちこ

〈優良職員〉

所属	職名・氏名
高千穂町立図書館	社会教育指導員 戸敷 恵美
高千穂町立図書館	図書司書 藤野 英里
宮崎市立佐土原図書館	(元)主任司書 松井 幸子

### (3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和 48 年 11 月 10 日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

#### ① 事業実績

〈理事会・総会・研究発表会〉

令和 4 年 5 月 27 日（金） 会場：県立図書館研修ホール

##### ・理事会

総会に向けての提案事項についての協議、秋季研究発表大会えびの大会について説明を行った。また「市町村図書館・学校図書館との連携」についての意見交換、活動状況についての情報交換を行った。

令和 4 年 7 月 27 日（水） 会場：県立図書館研修ホールほか

##### ・総会

地区別協議会、第 2 回理事会および総会を実施した。第 2 回理事会では、秋季研究発表大会えびの大会の開催について、コロナウィルス感染状況により開催が難しく中止することが提案され、総会で諮ることとなった。総会では、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、新型コロナウイルス感染拡大により、10 月実施予定であった秋季研究発表大会えびの大会の中止が決定された。

##### ・研修会

宮崎大学地域資源創成学研究課地域資源情報センター講師鈴木良幸氏による「野生動物の贄と米良神楽－「伝承」再興時代と地域づくり－」というテーマで講演を行った。

〈秋季研究発表大会〉

えびの大会（えびの市）コロナ禍のため中止

〈その他〉

「地方史みやぎき 第 67 号」の発行

#### ② 役員及び加入団体

〈役員〉 任期：令和 3 年 6 月～令和 5 年 6 月

会 長 橋本 孝則（都城史談会）

監 事 加藤 建夫（小林史談会）、湯浅 倉平（個人会員）

神保 侃弘（日南郷土史会）

地区理事 甲斐 典明（延岡史談会）、椎 敏夫（木城史友会）

亀澤 轟幸（えびの市史談会）、原口 勝（佐土原郷土史会）

佐藤 正信（個人会員）、牧 貴（月刊宮崎とらや郷土文化研究所）

事務局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

(令和5年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	甲斐 典明	延岡市	佐土原郷土史会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	椎 敏夫	木城町	小林史談会	加藤 建夫	小林市
高鍋史友会	石川 正樹	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	長津 宗重	宮崎市	南九州文化研究会	田代 義博	都城市
宮崎県総合博物館	岩切 義郎	宮崎市	日南郷土史会	神保 侃弘	日南市
宮崎県埋蔵文化財センター	吉本 正典	宮崎市	串間史談会	堀口 勉	串間市
月刊宮崎とらや郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市			

○ 団体会員：15 団体      個人会員：7 名

## (4) 令和5年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	個人委員
2	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
3	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部教授	〃
4	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
5	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
6	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
7	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学副学長 地域連携センター長	〃
8	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
9	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
11	〃（外国語一般）	永田 耕嗣	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
12	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
13	自然科学・歴史	松野 義直	県総合博物館長	あて職委員
14	美術	武田 宗仁	県立美術館長	〃
15	教育	黒木 貴	教育研修センター所長	〃
16	産業（フードビジネス）	日吉 誠一	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
17	健康	和田 陽市	宮崎県参事兼福祉保健部次長	〃
18	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	〃
19	工学	有村 隆	工業技術センター所長	〃
20	土木・建築	迫 節夫	技術企画課長	〃
21	農業	東 洋一郎	総合農業試験場長	〃
22	水産	西府 稔也	水産試験場長	〃
23	畜産	林田 宏昭	畜産試験場長	〃
24	林業	池田 孝行	林業技術センター所長	〃
25	体育	甲斐 久志	スポーツ指導センター所長	〃
26	福祉（障がい者）	佐藤 雅宏	障がい福祉課長	〃
27	考古学	吉本 正典	埋蔵文化財センター所長	〃

## 【 参 考 资 料 】

# 1 沿革

## (1) 県立図書館の歩み

明治  
35年5月 私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立  
蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 ㎡ (47 坪)

大正  
4年11月 御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設  
5年1月 新館開館 (第2代館)

昭和  
24年5月 工費 10,115,000 円で増改築  
25年4月 宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊  
26年8月 宮崎県立図書館協議会発足  
29年1月 自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始  
30年4月 佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始  
33年4月 県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館7館で発足  
34年4月 近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 ㎡ (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失  
36年4月 総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成  
鉄筋コンクリート3階建、延面積 3,245 ㎡ (986 坪)  
7月 新館開館 (第3代館)  
37年4月 5ヶ年計画でPTA母親文庫を開設  
40年1月 宮崎県郷土史料総合目録を刊行  
41年4月 3ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始  
42年5月 複写サービス開始  
43年4月 10年計画で内藤家文書(明治大学所蔵)のマイクロ撮影開始  
6月 3ヶ年計画で3級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始  
44年1月 宮崎県行政資料所在目録刊行  
45年4月 5ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始  
内藤家文書(マイクロ・フィルム)の翻訳開始  
46年3月 蔵書目録第1巻(総記、哲学、歴史編)刊行  
47年3月 蔵書目録第2巻(社会科学編)刊行  
7月 開架室の増設(1万冊を2万冊へ)  
48年3月 蔵書目録第3巻(自然科学、工学、工業、産業)刊行

4月 自動車文庫による配本を3ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度22町村が完了  
宮崎県史料刊行事業開始  
7月 県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入  
小中学生に対する館外貸出制度新設  
11月 宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催  
49年1月 購入雑誌を146種類(従来63種類)に増加  
3月 蔵書目録第4巻(芸術、語学、文学編)刊行  
49年4月 機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係、資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立  
古文書解読研究会(館内職員)発足  
郷土文化講座(4講座)を開催  
県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置  
拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設  
11月 全国公共図書館整理部門研究集会(27日から29日 中小企業センターほか)を開催  
50年3月 宮崎県地方史研究紀要の刊行開始  
宮崎県史料の刊行開始  
4月 市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開催  
延岡・都城・小林の3地区で開催  
51年1月 郷土文化講座(4講座)に自然科学講座を追加  
3月 蔵書目録第5巻(昭和48年度までの補遺)刊行  
52年4月 重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施  
10月 蔵書目録第6巻(昭和49年度増加目録)刊行  
53年3月 蔵書目録第7巻(昭和50年度・51年度増加目録)刊行  
54年4月 N.D.C8版・N.C.R予備版に切換え  
6月 新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資

料目録刊行開始

10月 開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）

56年1月 県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる

58年1月 日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）

59年3月 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県立図書館に関する提言を含めた報告書を知事に提出

4月 日曜日開館開始

6月 宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2月まで委員会11回を開催）

60年1月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）

4月 新館建設準備委員会（3月まで5回開催）及びコンピュータ導入委員会（3月まで13回開催）設置

7月 新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）  
昭和61年3月20日設計完了

9月 宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 50万円寄贈（「岩切文庫」創設）

61年3月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）  
杉田文庫目録（図書の部）刊行

10月 新館建設工事着工

62年3月 杉田文庫目録（遺墨類）刊行

12月 新館完成、引渡

63年1月 旧館閉鎖

2月 新館へ移転開始（第4代館）

63年5月 新館落成・開館記念式典及び記念行事  
コンピュータ・システム稼働  
安井息軒銅像除幕式  
開館記念  
「杉田文庫 稀観資料展」開催  
「杉田文庫 俳諧資料展」開催

7月 図書館ボランティア養成講座開設

平成

元年7月 紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察

11月 日本図書館協会百年史県内編集会議

2年1月 新館の入館者100万人を突破

3年3月 「嶮南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）

4年10月 宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催

5年3月 宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定

7月 宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称 Myline）運用開始（当初5市町村加入）  
宮崎県立図書館協力連絡車運行開始

6年3月 「内藤充真院道中記」刊行

7年3月 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行

10月 宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21世紀の子どもたちに伝えるみやぎの本100冊展」開催

12月 「21世紀の子どもたちに伝えるみやぎの本100冊の本」刊行

8年3月 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行

9年3月 「佐土原藩譜」刊行開始

6月 図書貸出限度冊数3冊を5冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前9時に変更

11月 初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施

10年3月 マイライン全市町村接続

6月 「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成10年から11年）

10月 図書館づくりフォーラム開催

11年3月 宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして30万円寄贈（「平嶋文庫」創設）

12年4月 インターネットホームページ開設

9月 佐土原藩嶋津家江戸日記刊行開始

13年4月 みどりに関する資料特別収集方針策定

14年10月 図書館創立100周年記念事業を開催

11月 創立100周年記念式典

15年3月 「100年のあゆみ」刊行

4月 県内図書館横断検索システム導入（4館）

15年7月 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画  
パソコン2台でのインターネット閲覧サービス開始

16年4月 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7席）

6月 「ビジネス情報コーナー」の開設

17年4月 祝日開館試行開始

5月 入館者1,000万人突破

6月 閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設

10月 図書館利用講座開始

18年7月 宮崎県環境情報センターが館内（閲覧室）にオープン

19年12月 「みやぎぎ発Live! Library～地域づくり

と図書館のミッション」開催

20年2月 図書館サイン見直し  
健康情報コーナー設置  
「学校図書館運営のてびき」発行

11月 中村地平生誕100年記念講演会開催

21年1月 宮崎県町村会主催 県立図書館共催により  
「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催

2月 「子育て支援コーナー」の開設

22年4月 県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店(国民生活事業)、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結

6月 口蹄疫拡大防止のため、6月12日から7月26日の間、休館

8月 第34回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察

10月 新書庫へ視聴覚演習室改修(収蔵能力4万冊増)

23年3月 貸出点数を1人5点から10点(児童図書室の資料は5点まで)に変更  
県立図書館ブログ開始

24年1月 ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催

3月 話集・音声CD「みやぎきの言の葉」(神話・伝承、民話編)刊行

5月 書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館(5月21日から6月8日まで)

12月 宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈(10年間 3,000冊)  
「かば先生文庫」を創設、贈呈式

25年2月 児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備  
宮崎県環境情報センターを1階閲覧室から1階ロビーに移転

4月 歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任  
置県130年記念特別展「宮崎県誕生」を開催

27年4月 日曜・祝日の閉館時刻を午後5時から午後7時に延長  
県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始

28年3月 移動図書館車「やまびこ」廃止(平成28年6月7日より「やまびこ文庫」に移行)

4月 新マイラインサービス開始

図書館ブログを休止し県立図書館公式フェイスブックページを開設

28年5月 県立図書館ビジョン懇談会発足

6月 移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式  
「やまびこ文庫」開始

11月 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」を教育長へ手交

29年6月 若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈(全878冊)

10月 対がん情報コーナー設置

12月 「宮崎県立図書館ビジョン」策定  
「かば先生文庫」寄贈5周年記念おはなし会開催

30年3月 宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」策定

4月 宮崎大学との連携協力に関する協定締結

10月 「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催  
県立図書館書庫増設検討委員会設置

11月 故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈

令和

元年7月 国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始

2年3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月5日から3月26日の間、臨時休館

4月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月21日から5月10日の間、臨時休館

3年3月 宮崎県立図書館ビジョン「第2期アクションプラン」策定

8月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス提供開始

12月 『読む』サポートコーナー設置

4年4月 図書館創立120周年記念事業を各種開催(3月まで)

9月 塩月桃甫によるデザインをもとにした新貸出利用券を発行

5年2月 宮崎県立図書館ビジョンを一部改訂し、「第3期アクションプラン」を策定

## (2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼 掌	29	昭和 51.4	昭和 53. 3	日高 千文	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼 掌	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島 重俊	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼 掌	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼 掌	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 兼 掌	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼 掌	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼 掌	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞 保博秋	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼 掌	53	" 31. 4	令和 3. 3	中原 光晴	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	54	令和 3. 4	令和 4. 3	岩本 真一	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任	55	" 4. 4	" 5. 3	小川 雅彦	"
28	昭和 48. 4	昭和 51. 3	藪田 穂	"	56	" 5. 4		平山 文春	"

## 2 県立図書館条例・規則等

### (1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)  
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(昭和31年4月13日条例第21号抄)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和39年4月1日条例第36号抄)

この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則(昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則(昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### (2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)  
(最終改正 令和2年3月 教育委員会規則第5号)

#### 第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

#### 第2章 組織及び職制

##### 第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

## 第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
館長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

### 第3章 図書館奉仕

#### 第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 閲覧室及び対面朗読室  
午前9時から午後7時まで
- (2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室  
午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）
- (2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）
- (3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

#### 第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
  - (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
  - (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
- (複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談（以下「参考調査相談」という。）をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。  
（回答を行わない事項）

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

### 第3節 図書館資料等の館外利用

（図書館資料の館外利用）

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券（以下「貸出利用券」という。）の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内（うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内）とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。

（団体文庫及び巡回文庫）

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

（視聴覚機器の館外利用）

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体（以下「社会教育等団体」という。）とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

（図書館資料の館外利用の制限）

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

(1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料

(2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの

(3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの

(4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料

（図書館資料等の館外利用の停止等）

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器（以下「図書館資料等」という。）の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

(1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。

(2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。

(3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

（貸出利用券の紛失又は破損）

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

（図書館資料等の亡失又は損傷）

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

（図書館資料等の特別貸出し）

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

(1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者

(2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者

(3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

### 第4節 研修ホール等の利用

（研修ホール等の利用）

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社

会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

(1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。

(2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。

(5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。

(6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。

(7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

（研修ホール等の利用の許可の取消し等）

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めは負わないものとする。

#### 第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

（図書館資料の寄贈及び寄託）

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

（寄託資料の取扱い）

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

（寄託資料の賠償責任）

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

#### 第4章 雑則

（委任）

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

（県立図書館規則等の廃止）

2 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）

(2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

附 則（平成2年4月17日教育委員会規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年8月25日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年5月22日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第9号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月29日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月30日教育委員会規則第12号）  
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）  
この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日教育委員会規則第6号）  
この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月21日教育委員会規則第1号）  
この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則（平成23年7月21日教育委員会規則第4号）  
この規則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教育委員会規則第10号）  
この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月29日教育委員会規則第11号）  
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月30日教育委員会規則第5号）  
この規則は、公布の日から施行する。

### (3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条 県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則  
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

## (4) 宮崎県立図書館資料収集方針

(平成18年8月1日 施行)  
(最終改正 平成30年4月1日)

### 1 趣旨

この収集方針は、宮崎県立図書館（以下、「県立図書館」という。）の、図書館資料（以下、「資料」という。）の収集に関して、必要な事項を定めるものとする。

### 2 基本方針

県民への社会教育の推進、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために、各分野における基本的な資料から専門的な資料まで幅広く収集し、特に下記事項について、重点的に取り組むものとする。

#### (1) 県立図書館としての役割による収集

県全域への均衡ある図書環境を充実させるために、市町村の図書館や図書室（以下、「市町村立図書館等」という。）と連携・協力を図り、それぞれの役割を踏まえた資料の収集に努めるものとする。

#### (2) 学校教育援助のための収集

社会教育と学校教育との連携のもと、学校教育における課題解決や児童生徒の学習活動を援助するために、必要とする資料の収集に努めるものとする。

#### (3) 郷土資料充実のための収集

本県の歴史、文化、行政など郷土に関する資料を次世代に引き継いでいくために、市町村立図書館等と連携・協力を図りながら、県内各地域に関わる資料の収集に努めるものとする。

#### (4) 子ども読書活動推進のための収集

家庭や地域、学校等と連携・協力を図りながら、読み聞かせや自主的な読書など子どもたちの読書活動を推進するために、全県的な取組に向けた適切な資料の収集に努めるものとする。

#### (5) 特色ある図書館づくりのための収集

本県のすばらしい自然環境の保護と、国土保全を担いかつ本県産業の基盤である農林水産業の発展に資するために、県民の理解や意識の高揚、啓発につながる特色ある資料の収集に努めるものとする。

#### (6) 地域や社会人支援のための収集

地域や社会人が、その時々々の社会情勢や様々な要因によって抱える課題の解決を支援するために関係機関との連携・協力を図りながら、関連する分野の総体的な資料収集に努めるものとする。

### 3 資料別収集基準

収集に当たっては、2の基本方針を踏まえ、次に掲げる資料ごとの基準により、予算の範囲内において効率的で適切な収集を行う。

#### (1) 一般資料

一般資料とは、次の(2)から(10)に掲げる以外の資料をいう。

##### ア 総記

(ア) 情報科学は、最新のものから解説書を中心に収集する。

(イ) 図書館、図書に関する資料は広く収集する。

##### イ 哲学・宗教

(ア) 哲学は、入門書や解説書などを中心に体系的に収集する。

(イ) 心理学、倫理学は、解説書、研究書を収集する。

(ウ) 宗教は、平易に書かれた解説書を中心に収集する。

##### ウ 歴史・地理

(ア) 歴史は、各時代における入門書、研究書、史料等を収集する。

(イ) 伝記は、著名人に関するものを広く収集する。

(ウ) 地理、地誌、紀行は、解説書を中心に収集する。

##### エ 社会科学

(ア) 今日の課題を踏まえて収集する。

(イ) 法令等の改正に伴う資料は、手引書や解説書を収集する。

(ウ) 統計資料等は、広く継続的に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

##### オ 自然科学・医学

(ア) 自然科学は、幅広く収集する。

(イ) 天文学や地球科学及び生物科学は、積極的に収集する。

(ウ) 医学・薬学は、各細目にわたり、入門書、解説書を中心に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

カ 技術・家政学

- (ア) 技術、工学は、最新の情報に留意して収集する。
- (イ) 環境を取り扱った資料は、幅広く積極的に収集する。
- (ウ) 家政学は、解説書を中心に収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

キ 産業

- (ア) 農林水産業に関する資料は、幅広く積極的に収集する。
- (イ) 商業や観光は、地域支援に関するものを中心に収集する。
- (ウ) 運輸、通信は、最新の情報に留意して収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

ク 芸術・スポーツ・諸芸

- (ア) 芸術は、解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
- (イ) スポーツはルール改正に留意し、解説書、技術書等を収集する。
- (ウ) 諸芸は、解説書、研究書を中心に収集する。

ケ 言語

- (ア) 言語学、辞典類は広く収集する。
- (イ) 文章、会話、方言などは解説書を中心に収集する。

コ 文学

- (ア) 古典や研究書などを充実させる。
- (イ) 主な文学賞受賞作品は収集する。
- (ウ) 全集、作品集は広く収集する。

(2) 参考資料

参考資料とは、特定の知識、情報について調べるための資料をいう。

- ア 調査研究やレファレンスなどの業務に役立つ各分野の資料を収集する。
- イ 学術的に評価のあるものを収集する。
- ウ 各種統計報告書などのデータ資料、また国等の行政機関による刊行物は、積極的に収集する。

(3) 児童資料

児童資料とは、乳幼児が見る赤ちゃん絵本から、中学生向けの読み物に至る子どもの資料をいう。

- ア それぞれの年齢、発達段階に応じた資料を幅広く収集する。
- イ 長く読み継がれるなど、評価の定まった資料は、もれなく収集する。
- ウ 児童文学研究や読書活動推進に関する資料を収集する。

(4) 青少年資料

青少年資料とは、主に10代を対象とした資料をいう。

- ア 青少年の読書活動の推進を図るため、興味関心等も考慮し、感性和創造力を豊かにする資料を幅広く収集する。
- イ 生活や学習の課題解決などに関する資料を収集する。

(5) 郷土資料

郷土資料とは、郷土や郷土関係者などに関する資料をいう。

- ア 宮崎県全域および歴史的、社会的に関係の深い地域の資料を、網羅的に収集する。
  - (ア) 郷土の事物や郷土にゆかりのある人について記載された資料
  - (イ) 本県および県内市町村または国その他公的機関が刊行、あるいは作成した資料
  - (ウ) 郷土で活動する個人や団体などが作成した資料
  - (エ) 古文書等史資料
  - (オ) 郷土にゆかりのある人が著した資料
- イ 郷土資料として収集するものは、図書、古文書、絵図、地図、写真、逐次刊行物、パンフレット類、視聴覚資料等を対象とする。

(6) 逐次刊行物

逐次刊行物とは、終期が予定されず、同一の標題のもと、巻号や年月などに表示され定期的（あるいは不定期）に刊行される資料をいう。

ア 雑誌

- (ア) さまざまな分野における県民の学習支援のための雑誌
- (イ) 九州各県で、分担保存の取り決めをしている雑誌
- (ウ) 県内公共図書館等で、分担保存の取り決めをしている雑誌

イ 新聞

- (ア) 主要な全国紙
- (イ) 九州各県の主要な地方紙
- (ウ) 業界紙、子ども紙、外国紙

(7) 視聴覚資料

視聴覚資料とは、図書館資料のうち、映像、音声など文字以外の表現方法で主に記録され、図書館法に定める視聴覚教育の資料をいう。

ア 県民の教育文化に向上に資する資料を収集する。

(ア) 視聴覚事業及び社会教育関係団体の活動、学校の教育活動に活用できる資料

(イ) 高く評価され感動的な資料

(ウ) 国内外で受賞した芸術性の高い資料

(8) 外国語資料

外国語資料とは、対象が主として外国人向けで、主に日本語以外で表現された資料をいう。

ア 外国人への情報提供の充実、および県民の外国理解に役立つ資料を収集する。

(ア) 日本の歴史、文化等に関する資料、日本文学の翻訳資料

(イ) 外国の歴史、文化、文学等に関する資料

(ウ) 外国人が、日本での生活に必要とする情報を提供できる資料

(9) 電子資料

オンラインデータベースなどの電子資料は、他の資料との情報の補完性を考慮して収集する。

(10) その他

幅広い利用者への資料の提供及び資料の適切な保存や活用を図るため、次の仕様による資料も適宜収集する。

ア 大活字本、音声資料

イ マイクロフィルム資料

ウ 新聞、雑誌などの製本資料

#### 4 資料収集の体制

(1) 図書、逐次刊行物及び視聴覚資料など資料収集の検討を行うため、宮崎県立図書館図書選定連絡会（以下「連絡会」という。）を置く。

(2) 連絡会の設置及び運営については、別途要領を定める。

#### 附 則

この方針は、平成18年8月1日から施行する。従前の「宮崎県立図書館資料収集方針」（平成9年4月1日施行）は廃止する。

一部改正 平成28年4月1日

一部改正 平成30年4月1日

### (5) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領

#### 1 目的

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎきのイメージにあった「みどりに関する資料」を特別収集する。

#### 2 収集方針

(1) 特別収集する資料は、「みどりに関する資料」とし、内容は下記のとおりとする。

・「自然に関する資料」

・「環境に関する資料」

・「緑の文学に関する資料」

(2) 県民が自然や緑のすばらしさと大切さを知り、これらに親しむことができる資料を収集する。

(3) 県民の環境教育・環境学習の推進に役立ち、環境保全に対する意識の高揚と啓発につながる資料を収集する。

#### 3 「みどりに関する資料」収集内容

##### 「自然に関する資料」

・森林 ・植物 ・動物 ・海洋 ・自然公園 ・天然記念物

・河川 ・湖沼 ・農業 ・園芸 ・ビオトープ ・アウトドア

・グリーンツーリズム ・林業 ・国土保全等

##### 「環境に関する資料」

・地球環境問題（地球温暖化 熱帯雨林の減少 オゾン層の破壊 酸性雨等）

・エコロジー ・リサイクル ・エコライフ ・大気汚染

・廃棄物 ・河川汚濁

・河川浄化 ・海洋汚染 ・エネルギー等

## 「緑の文学に関する資料」

・自然や環境をテーマとした文学等（ネイチャーライティング 緑の文学批評等）

### (6) 資料の除籍に関する要項

（昭和63年4月1日 施行）  
（最終改正 平成30年4月1日）

#### 1 目的

この要項は、宮崎県立図書館が所蔵する資料の適正な管理を行うため、資料の除籍についてその必要な事項を定めるものとする。

#### 2 除籍の種類

除籍は、その原因となる事由により、下記の（1）～（7）のように区分する。

##### (1) 不用

- ① 資料が資料的価値を失い、保存の必要がないと認められた場合。
- ② 複本が必要以上にある場合。
- ③ BM資料で10年を経過したもの。ただし、このうち資料的価値のあるものは本館へ配架替えを行う。
- ④ 逐次刊行物については、別に定めるところによる。

##### (2) 亡失

- ① 貸出をうけた利用者が、資料を紛失した場合。
- ② 不慮の事故・災害・その他の事由により資料が亡失したと認められる場合。
- ③ 住所不明等により、返却期限から3年を越えて返却されない場合。
- ④ 蔵書点検で、2回連続不明となった場合。

##### (3) 汚損・破損

- ① 資料の全部あるいは一部が汚れて、文字や絵が判読できない場合。
- ② 資料が破損し、修理不能と判断した場合。

##### (4) 所管換え

資料を他の所属長に管理替えを行う場合。

##### (5) 数量更生

受入済の資料を合冊または分冊して数量変更する場合。

##### (6) 寄託返還

寄託で受け入れた資料を返還した場合。

##### (7) その他の除籍

その他除籍することが適当と館長が認める場合。

#### 3 除籍の決定

- (1) 資料を除籍しようとするときは、除籍処分調書（様式第7号）に必要事項を記入の上、決裁を受けなければならない。
- (2) 利用者が貸出中に亡失または損傷した場合は、図書館資料亡失・損傷届（宮崎県立図書館閲覧室等利用規程様式第13号）を除籍処分調書に添付する。

#### 4 決裁後の処理

除籍が決定したときは、次の各号に定める処理を行う。

- ① 電算システム上での除籍処理。除籍区分・除籍月日・資料番号等の入力。
- ② 不用で除籍した資料については、資料の標題紙の裏面に除籍印を朱色で押印する。
- ③ 不用で除籍した資料で、市町村立図書館等へ寄贈してもよいものがあれば、各図書館等へ紹介する。

#### 附 則

この要項は昭和63年4月1日から施行する。

一部改正 平成12年 3月 3日

一部改正 平成29年 1月 26日

一部改正 平成30年 4月 1日

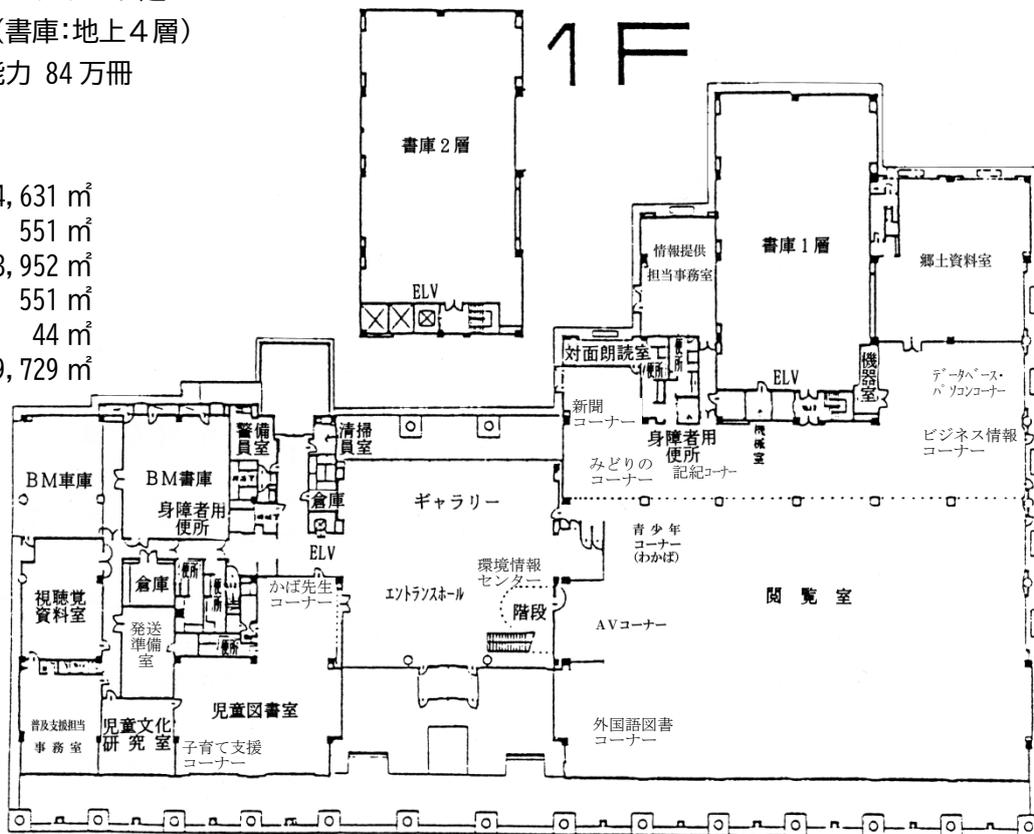
### 3 施設概況

#### (1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造  
 地上2階（書庫:地上4層）  
 図書収蔵能力 84万冊

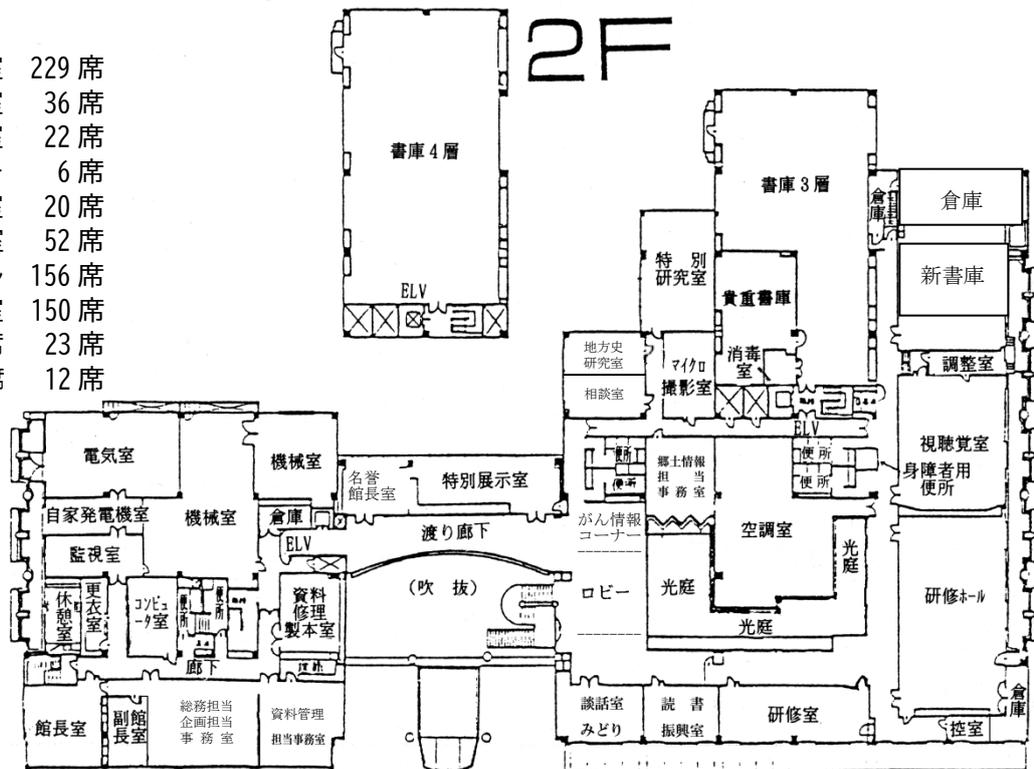
#### (2) 床面積

1階 4,631㎡  
 551㎡  
 2階 3,952㎡  
 551㎡  
 屋階 44㎡  
 合計 9,729㎡



#### (3) 座席数

一般閲覧室 229席  
 郷土資料室 36席  
 児童図書室 22席  
 AVコーナー 6席  
 読書振興室 20席  
 研修室 52席  
 研修ホール 156席  
 視聴覚室 150席  
 パソコン席 23席  
 新聞コーナー 12席



## 4 施設の維持管理

### (1) 照明改修

非常用階段及び館長室照明の一部LED化、並びに書庫照明スイッチの改修を行った。

### (2) トイレ改修

1階男子トイレ小便器自動水栓の一部改修を行った。

### (3) 外壁洗浄

図書館北側外壁及び2階中庭外壁の洗浄を行った。

### (4) 消防用設備修繕

書庫の避難誘導灯の一部LED化と閲覧室内発信機の一部更新を行った。

### (5) BDS（ブックディテクションシステム）の更新

閲覧室入口の資料不正持ち出し装置を、これまでの接触型から非接触型のBDSに更新した。



## 5 利用案内

### (1) 開館・休館

#### ① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

#### ② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（9月19日～9月22日、令和6年1月29日～令和6年2月9日）

### (2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

### (3) 電話

0985-29-2911 全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務・企画課総務担当

0985-29-2911 各種図書館事業の企画・広報・・・・・・・・・・総務・企画課企画担当

0985-29-2970 資料の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務・企画課資料管理担当

0985-29-2956 やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業・・・・・・・・・・情報提供課普及支援担当

0985-29-2954 郷土情報に関する問合せ・・・・・・・・・・情報提供課郷土情報担当

0985-29-2596 図書の貸出・返却・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

0985-29-2972 資料に関する問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

### (4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当・資料管理担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（郷土情報担当・情報提供担当）

### (5) 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

### (6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

### (7) SNS

フェイスブック <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

インスタグラム [https://www.instagram.com/miyazaki\\_pref\\_lib/](https://www.instagram.com/miyazaki_pref_lib/)

## 6 市町村立図書館一覧

図書館名	館長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
宮崎市立図書館	横山 通夫	880-0930	宮崎市花山手東3丁目25番地3	0985-52-7100	0985-52-7158
宮崎市立佐土原図書館	園田 義明	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20527番地4	0985-30-1037	0985-72-2066
都城市立図書館	井上 康志	885-0071	都城市中町16街区15号	0986-22-0239	0986-22-0251
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	885-1202	都城市高城町穂満坊105番地	0986-58-4224	0986-58-4245
延岡市立図書館	工藤 靖治	882-0812	延岡市本小路39番地1	0982-32-3058	0982-22-0644
延岡市立図書館北方分館	山本 栄作 (兼)北方分室長	882-0125	延岡市北方町川水流卯1236番地2	0982-28-5200	0982-28-5201
延岡市立図書館北浦分館	太田 康晶 (兼)北浦分室長	889-0301	延岡市北浦町古江1943番地1	0982-45-2466	0982-45-2466
延岡市立図書館北川分館	岡田 健一 (兼)北川分室長	889-0192	延岡市北川町川内名7250番地	0982-46-2047	0982-46-2065
日南市立図書館	長本 公介 (兼)生涯学習課長	889-2535	日南市飢肥2丁目6番18号	0987-25-0158	0987-25-1200
日南市まなびピア図書館	〃	887-0013	日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	0987-22-5666	-----
日南市立北郷図書館	〃	889-2402	日南市北郷町郷之原乙1570番地	0987-55-2469	0987-55-2469
日南市立南郷図書館	〃	889-3204	日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	0987-64-0924	-----
小林市立図書館	山下 町子	886-0004	小林市細野367番地1	0984-22-7913	0984-22-4333
小林市立図書館野尻分館	〃	886-0212	小林市野尻町東麓1183番地2	0984-44-1100	-----
小林市立図書館須木分館	〃	886-0111	小林市須木中原1741番地1	0984-48-2954	-----
日向市立図書館	東 久美	883-0035	日向市春原町1丁目47番地	0982-54-1919	0982-54-5444
串間市立図書館	黒木 さやか	888-0001	串間市大字西方6524番地58	0987-72-1177	0987-72-0803
西都市立図書館	椎原 昌司 (兼)社会教育課長	881-0003	西都市大字右松2606番地1	0983-43-0584	0983-41-1113
えびの市民図書館	北方 俊二	889-4311	えびの市大字大明司2146番地2	0984-35-0242	0984-35-3040
三股町立図書館	米丸 麻貴生 (兼)教育長	889-1901	北諸県郡三股町大字樺山3406番地8	0986-51-3200	0986-51-3751
国富町立図書館	佐藤 利明 (兼)社会教育課長	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	0985-75-9577	0985-75-9558
綾てるは図書館	中村 清久	880-1302	東諸県郡綾町大字北俣462番地2	0985-77-0180	0985-77-0585
町立高鍋図書館	岩佐 康司 (兼)社会教育課長	884-0003	児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	0983-21-1152	0983-21-1153
新富町図書館	倉永 浩幸 (兼)生涯学習課長	889-1403	児湯郡新富町大字上富田6345番地5 新富町総合交流センター「きらり」内	0983-32-7878	0983-33-5928
川南町立図書館	赤木 美穂	889-1302	児湯郡川南町大字平田2386番地3	0983-27-7111	0983-27-7100
都農町民図書館	岩本 繁 (兼)社会教育課長	889-1201	児湯郡都農町大字川北5448番地2	0983-25-3316	0983-25-2683
門川町立図書館	大澤 陽一 (兼)教育課長	889-0611	東白杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	0982-68-0001	0982-68-0024
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	883-1101	東白杵郡美郷町西郷田代1870番地	0982-62-6204	0982-66-2131
美郷町立北郷図書館	〃	889-0901	東白杵郡美郷町北郷宇納間401番地	0982-62-6205	0982-62-6193
美郷町立南郷図書館	〃	883-0306	東白杵郡美郷町南郷神門287番地	0982-59-1605	0982-59-1119
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	黒木 保隆 (村長)	883-1601	東白杵郡椎葉村大字下福良1829番地70	0982-67-2177	-----
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	882-1101	西白杵郡高千穂町大字三田井723番地1	0982-72-7219	0982-72-5515
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	882-0401	西白杵郡日之影町大字七折9079番地	0982-87-3809	0982-87-3816

※令和5年4月1日現在